

ESPRIMO

取扱説明書

スタートガイド

箱の中身を確認してください

記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。

★：ご利用の機種により添付されていない場合があります。

- パソコン本体
- キーボード
- マウス
- 保証書
- 電源ケーブル
- ★ ACアダプタ
- ★ 乾電池 (キーボード・マウスがワイヤレスの機種の場合)
- 取扱説明書<スタートガイド> (この本です)
- ★ Officeのプロダクトキーカード
- ★ miniB-CASカード [注1]
- ★ テレビ操作ガイド [注1]
- ★ リモコン [注2]
- ★ 乾電池 (リモコン用) [注2]

注1：テレビチューナー搭載機種に添付

注2：テレビチューナー搭載機種およびWF2/B2に添付

WD2/B2、WD1/B2の場合、次も添付されています。

- フット(設置台)ネジ付き
- ★ ワイヤレスレシーバー (キーボード・マウスがワイヤレスの機種の場合)
- ★ MiniDP→DP変換ケーブル (MiniDisplayPortコネクタを搭載の場合)

注：WD1/B2の場合、ゴム足も添付されています。

重要

- ・ご購入後すぐに添付品をご確認ください。
- 添付品を紛失した場合は、有料でのご提供となる場合があります。
- 添付品にはご提供できないものもあります。あらかじめご了承ください。
- 添付品は絶対に紛失しないように大切に保管してください。
- ・Officeをお使いになるときは、プロダクトキーカードに記載されたプロダクトキーが必要です。

サポート情報のご案内

紙
マニュアル

『取扱説明書<スタートガイド>』（本書）

本製品を使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

- ※お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。
- ※「ローマ字入力表」を本書の最後のページに掲載しています。ぜひご利用ください。

電子
マニュアル

インターネットに
接続してください

『取扱説明書<活用ガイド>』

本書の内容に加え、本製品の取り扱い方法や、設定の変更方法などを説明しています。

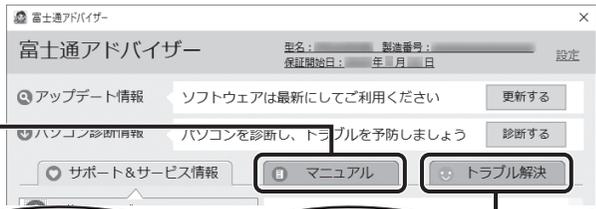
『Windows 10 基本操作クイックガイド』

Windows 10 の基本的な操作や、詳しい操作・便利な使い方などを紹介します。

- ※お使いの機種により、上記以外の電子マニュアルが用意されている場合があります。
- 電子マニュアルの参照方法については「マニュアルの表記」をご覧ください。



「富士通アドバイザー」からご覧ください。
「富士通アドバイザー」については「この後の使い方」をご覧ください。



『取扱説明書<活用ガイド>』

『Windows 10 基本操作クイックガイド』

クリックし、「トラブル解決」の一覧が表示されたら、「Windows 10 基本操作クイックガイド」をクリックしてください。

FMV
サポート

インターネットに
接続してください

サポートページ <http://azby.fmworld.net/support/>

FMVに関するQ&A事例や活用情報など、「知りたい・困った」ときに役立つ情報を提供しています。

このページの上部の入力欄に、知りたいことや困ったことに関連するキーワードやQ&Aナンバーを入力して「検索」ボタンをクリックします。



「富士通アドバイザー」の「サポート&サービス情報」タブからサポートページを開くこともできます。

豊富なQ&Aで
トラブルを解決!

さまざまな使い方のご提案
「パソコン活用情報」

(この画面は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。)

目次

このパソコンをお使いになる前に	2
マニュアルの表記	5
安全上のご注意	8
取り扱い上のご注意	12
パソコンの使用環境についての注意	12
パソコン本体の転倒防止について	
（FHシリーズ）	14
パソコンの取り扱いについての注意	14
疲れにくい使い方	16
各部の名称について	17

セットアップする

セットアップの流れを確認する	21
パソコンの準備をする	22
FHシリーズ（27型ワイド）	23
FHシリーズ（23.8型ワイド）	24
DHシリーズ（分離型）	25
キーボード/マウスを準備する	
（FHシリーズ）	30
キーボード/マウスを準備する	
（DHシリーズ）	32
Windowsのセットアップをする	34
インターネットに接続する	43
有線LANでインターネットに接続する	
（有線LANコネクタ搭載機種またはLAN変換	
ケーブル/アダプタ対応機種のみ）	43
無線LANでインターネットに接続する	43
Microsoftアカウントに切り替える	47
Microsoftアカウントとは	47
Microsoftアカウント切り替え方法	47
「はじめに行う設定」で初期設定する	53
この後の使い方	60
「取扱説明書<活用ガイド>」を読む	60
「富士通アドバイザー」を活用する	61
回復ドライブを作成する	63
バックアップをとる	64
『ソフ得』ソフト使い放題	64
動画でこのパソコンの使い方を学ぶ	65

困ったときは

メールやOfficeで困ったときは	66
ウイルス対策アプリなどで困ったときは	67
マカフィー リブセーフのお問い合わせ先	67
その他のアプリのお問い合わせ先	67
よくあるトラブルと解決方法	69
トラブルが発生した場合、まず次の点を	
確認してください	69
起動・終了時のトラブル	69
ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウスの	
トラブル	71
他のトラブル解決方法を参照する	72
インターネット上のサポートページを使う	
	72
「富士通ハードウェア診断ツール」を使う	
	72
パソコンを以前の状態に戻す	73
富士通の窓口にご相談する	74

お問い合わせ窓口のご紹介	74
修理を申し込む前の準備	75
修理の申し込み	76
お引き取りとお届け（パソコン修理便）	77
修理状況の確認	77
その他の修理サービスのご案内	77

パソコンの状態を回復する

パソコンの状態を回復するとは	78
このPCを初期状態に戻す機能	78
このPCを初期状態に戻す準備	79
このPCを初期状態に戻すうえでの注意	79
作業中に起こる可能性のあるトラブルの	
解決方法	79
このPCを初期状態に戻す	80
このパソコンに保存されたデータを使う	80
回復ドライブを使う	81
リカバリUSBメモリを購入してリカバリする	
	82

こんなときは

「こんにちは」画面が表示されたときは	83
インターネットを安心してお使いいただくには	
	84
青少年によるインターネット上の有害サイト	
へのアクセス防止について	84
パソコンの電源を完全に切るには	85
起動メニューの表示のしかた	85
富士通パソコンを廃棄・リサイクルするときは	
	85
PCリサイクルマークについて	85
パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上の	
データ消去に関するご注意	86
付属品の廃棄について	86
液晶ディスプレイが添付または内蔵されている	
機種をお使いのお客様へ	86

仕様一覧

パソコン本体の主な仕様	87
仕様一覧の注記について	92

富士通パーソナルコンピュータ修理

規定	93
----	----

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内に格納しています。
セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。
ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品には、「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本製品の構成部品（プリント基板、光学ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。

本製品における特定の化学物質（6物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/>

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2014

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

有寿命部品について

- ・ 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・ 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリディスク、光学ドライブ、キーボード、マウス、ACアダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

- ・ バッテリパックや電池等の消耗品は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

- ・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっていません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について

2.4 DS/OF 4

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・ 本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について 5GHz 帯のチャンネルについて

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。

- ・ W52 : 36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
- ・ W53 : 52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)
- ・ W56 : 100(5,500MHz)/104(5,520MHz)/108(5,540MHz)/112(5,560MHz)/116(5,580MHz)/120(5,600MHz)/124(5,620MHz)/128(5,640MHz)/132(5,660MHz)/136(5,680MHz)/140(5,700MHz)

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。

アドホック通信では 5GHz 帯を使用できません。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて (FH シリーズの場合)

2.4 FH4

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて (DH シリーズの場合)

2.4 FH8

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスについて

24DS1

上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。

この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- ・ 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお申しつけください。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2017 年 5 月現在のものです。

お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■Windows 10 の操作手順と画面について

Windows 10 は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。

そのため、本書をご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危害や損害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

 破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

	<p>安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。</p>		<p>故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。</p>
	<p>特定しない一般的な使用者の行為を指示します。</p>		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中での書き分けについて

このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称について」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/fmv/>) で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	<p>お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。</p>
	<p>操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。</p>
	<p>以降の手順が分かれることを表しています。</p>
	<p>冊子のマニュアルを表しています。</p>
	<p>「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。</p>
	<p>CD や DVD などのディスクを表しています。</p>
	<p>参照ページを表しています。</p>

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作手順について

このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。

なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■「ハードディスク」の表記について

フラッシュメモリディスク搭載機種の場合、このパソコンに内蔵されたハードディスクを示す箇所は、フラッシュメモリディスクに読み替えてください。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10 Home 64 ビット版	Windows または Windows 10
Windows 10 Pro 64 ビット版	Windows または Windows 10
Internet Explorer 11	Internet Explorer
Office Personal Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Personal Premium
Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Home & Business Premium
Microsoft Word 2016	Word [注 1]
Microsoft Excel 2016	Excel [注 1]
Microsoft Outlook 2016	Outlook [注 1]
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Bluetooth®	Bluetooth
Corel® WinDVD®	WinDVD
BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ	Blu-ray Disc ドライブまたは光学ドライブ [注 2]
スーパーマルチドライブ	光学ドライブ [注 2]
ATOK 2016 for Windows	ATOK
ATOK 2017 for Windows	
マカフィー® リブセーフ™	マカフィー リブセーフ
Roxio Creator LJ	Roxio Creator
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題
i-フィルター® for マルチデバイス	i-フィルター

注 1：これらのアプリをまとめて「Office」と表記することがあります。

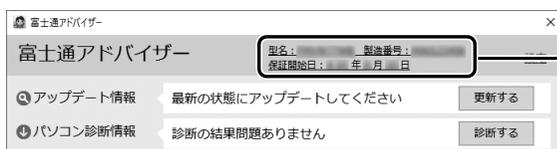
注 2：搭載されている光学ドライブは、「仕様一覧」(→ P.87) でご確認ください。

また、本文中では本製品をシリーズ名で表記することがあります。シリーズ名は「仕様一覧」(→ P.87) でご確認ください。

■インターネットに掲載されている電子マニュアルの参照方法

☐▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にクリックします。

「富士通アドバイザー」が見つからないときは、画面を上スクロールしてください。



この部分をクリックすると、マニュアルをダウンロードするページが表示されます。

(画面は機種や状況により異なります)

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。

<http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>
ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

警告



プラグを抜く

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。



一般禁止

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄りたりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。



一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。



一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電源装置）や車載用AC電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけて、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



一般禁止

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



一般指示

電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



一般指示

電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



一般禁止

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。



アース線を接続せよ

電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



一般禁止

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



一般禁止

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

注意



一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気が多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。



一般禁止

本製品やACアダプタを直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



プラグを抜く

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルやACアダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。

使用時

警告



火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。



端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間あたらしないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。
低温やけどの原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花瓶やコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないようにしてください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因になります。



タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、本製品を転倒・落下させないでください。
破損するおそれがあります。また、破損した場合は、ガラスの破片に直接接触しないよう注意して清掃してください。けがをするおそれがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・ショートさせない
- ・加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れてない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けをしない



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、ワイヤレスキーボード/マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



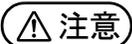
ACアダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



・光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。
クラス 1 レーザー製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。



注意



本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ~ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。
・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体が付く高さで調節する。
・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。



光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。
けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。
火災、故障の原因になります。



ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。
ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。



「PC カード」、「SD メモリーカード」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。
これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。
やけどの原因になります。



マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設



警告



お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因になります。
修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お客様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



カバーおよび可動部を開ける場合は、お客様の手が届かない場所で行ってください。
作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。



メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。
カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。



清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障や火災の原因になります。



本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。



指定以外の電池は使用しないでください。
また、2 本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。



プラグを抜く

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

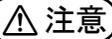
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも外してください。
故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因となります。



注意



一般禁止

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。



高温注意

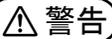
電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、十分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。



一般指示

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

異常時



警告



プラグを抜く

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用するとけがをするおそれがあります。



一般指示

バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。



注意



指のケガに注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄



注意



プラグを抜く

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。
火災の原因になります。



破裂注意

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品はリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

取り扱い上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。

内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

・パソコンをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

- ・動作時：温度 10 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH
- ・非動作時：温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 80%RH

・パソコンの結露

動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。

パソコンを移動したときは、直射日光が当たらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

・パソコンをお使いになれない場所

次の場所ではお使いにならないでください。

・直射日光のあたる場所

・水など液体のかかる場所

・台所などの油を使用する場所

油分がパソコン内部に入ってCPUファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

・ほこりの多い環境

ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。

・静電気の発生しやすい場所

パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所

故障や機能低下の原因となります。

・電気スタンドに近い場所

パソコン本体の近くで電気スタンドを点灯させると、タッチパネル機能が誤動作することがあります。

・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所

パソコン本体が腐食する可能性があります。

・通風孔

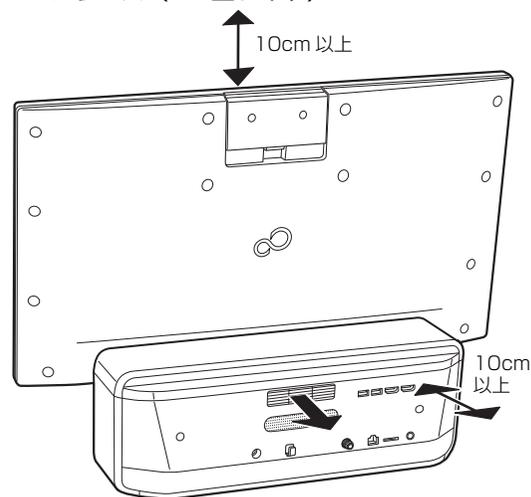
通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にはこりなどを取り除いてください。詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。

・通風孔をふさがらないでください。また、通風孔をふさぐ原因となるもの（布・マット・じゅうたん・ビニール・アルミ箔など）の上に置かないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。堅い机の上などに置いてください。

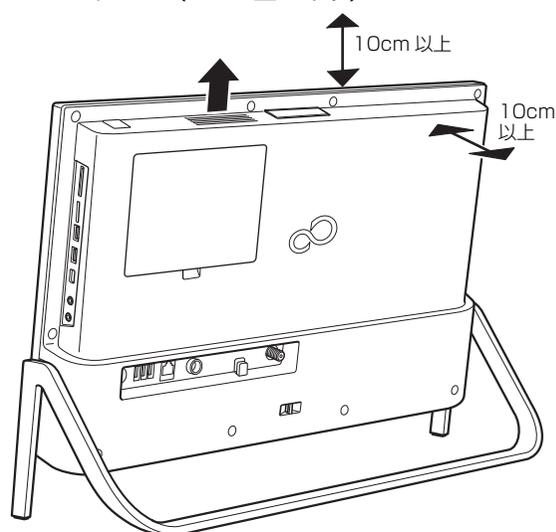
・通風孔の近くに物を置いたり、通風孔の周辺には手を触れないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

・パソコン本体上部、背面や側面と壁などとの間は、10cm以上のすき間を空けてください。通風孔の空気の流れは、次の図の  をご覧ください。

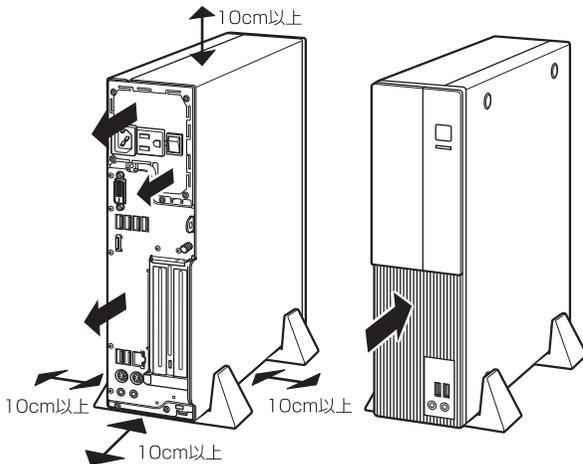
FH シリーズ（27 型ワイド）



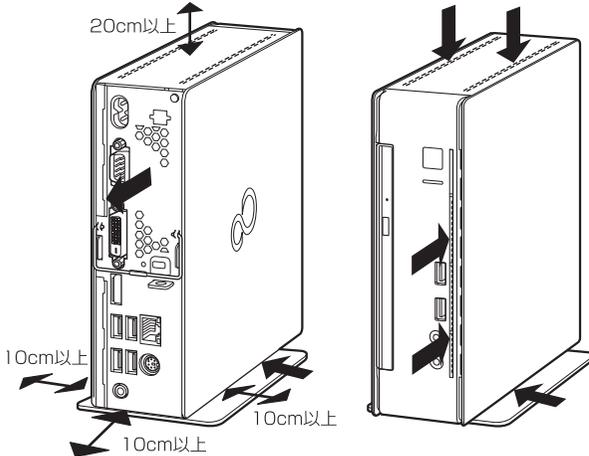
FH シリーズ（23.8 型ワイド）



DH シリーズ (WD2/B2)



DH シリーズ (WD1/B2)

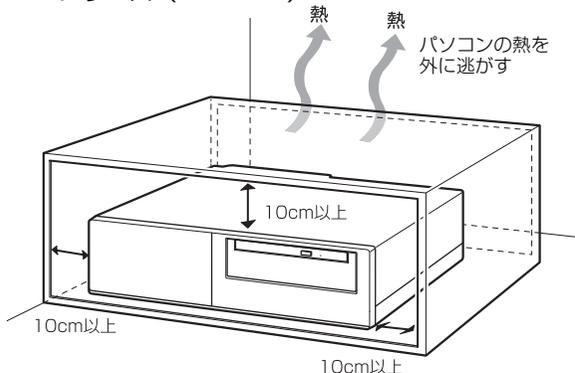


・パソコンをラックなどに設置する場合

前面および背面がふさがれていないラックを使用してください。

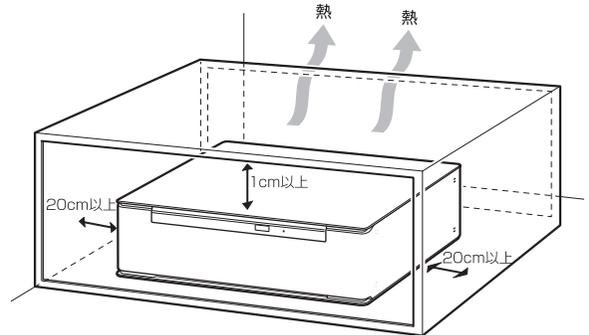
- ・ラック背面と壁の間は、10cm 以上のすき間をあけてください。
- ・パソコン本体とラックの内側の棚板などとの間は、次のイラストのようにすき間を開けてください。

DH シリーズ (WD2/B2)



(イラストは機種や状況により異なります)

DH シリーズ (WD1/B2)



(イラストは機種や状況により異なります)

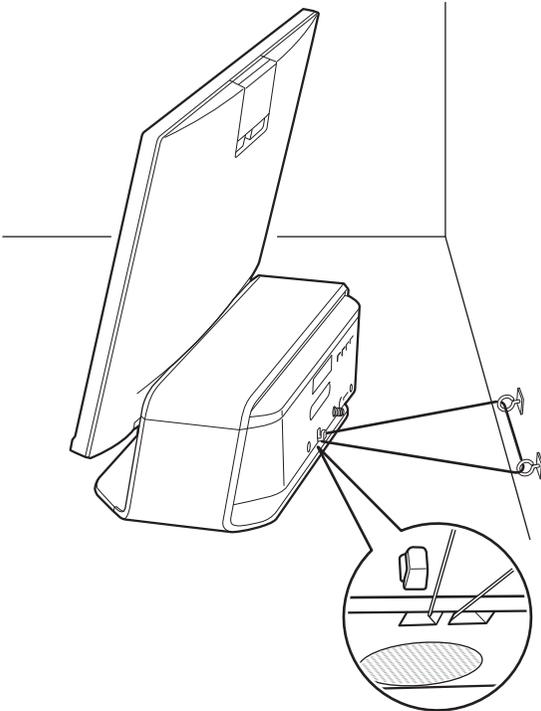
・パソコン使用中の環境

- ・操作するのに十分なスペースを取れる場所でお使いください。
- ・コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。
- ・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- ・パソコン本体の近くで携帯電話、PHS、トランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
- ・パソコン本体やACアダプタは、平らで堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコン表面が高温になることがあります。
- ・パソコンやACアダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
- ・ACアダプタは、パソコン使用中表面が熱くなることがあります。使用中は触れないでください。
- ・有線LANをお使いになるときは、接続ケーブルが届く場所でお使いください。
- ・無線通信機能をお使いになる場所(無線LAN搭載機種のみ)
パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

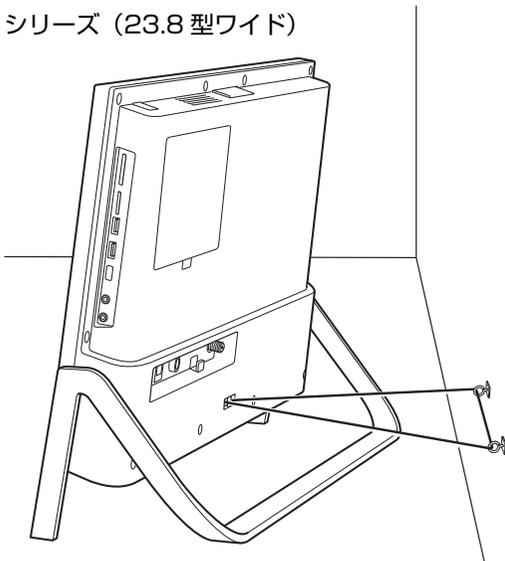
パソコン本体の転倒防止について (FHシリーズ)

地震の場合やパソコンに寄りかかったりした場合に、パソコンが転倒することがあります。パソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、パソコン本体を固定してください。

FHシリーズ (27 型ワイド)



FHシリーズ (23.8 型ワイド)



丈夫なひもで、しっかりした壁や柱にパソコンを固定してください。壁や柱への固定に金具をご使用になる場合は、ひもが外れない形状のものをお使いください。

重要

- ▶ 地震などでのパソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- ▶ 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や柱の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

パソコンの取り扱いについての注意

■パソコン本体の取り扱い注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・操作に必要な部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ・磁石や磁気プレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えたりするおそれがあります。
- ・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- ・パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

●FHシリーズの場合

- ・パソコン本体に寄りかかったり、装置を支えにして立ち上がったしないでください。
- ・スピーカー前面を強い力で押しついたりしないでください。
- ・パソコン本体に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。
- ・SSD（フラッシュメモリディスク）は、頻繁に書き込み／書き換えを行うと寿命が短くなります。ドライブの最適化（デフラグ）は行わないようにしてください。また、重要なデータはバックアップをとることをお勧めします。

●DHシリーズの場合

SSD（フラッシュメモリディスク）は、頻繁に書き込み／書き換えを行うと寿命が短くなります。ドライブの最適化（デフラグ）は行わないようにしてください。また、重要なデータはバックアップをとることをお勧めします。

■パソコンの温度上昇に関して

パソコンの使用中に、パソコン本体が熱をもつために温かく感じられることがありますが、故障ではありません。

■パソコン内部からの音に関して

パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがありますが、これらは故障ではありません。

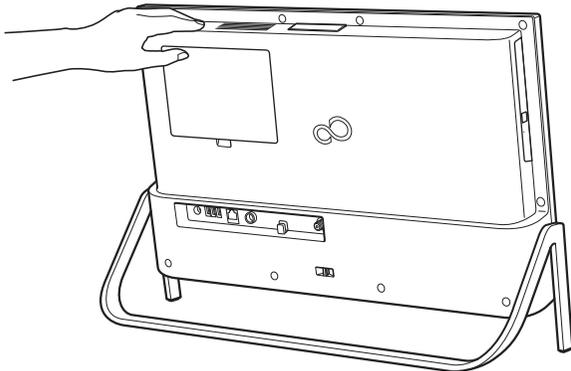
- ・内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ・ハードディスクにアクセスする音
- ・光学ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音
- ・DVDなどのディスクが回転する音
- ・内部の電子回路の動作音



■ケーブル類の接続／取り外しに関する注意

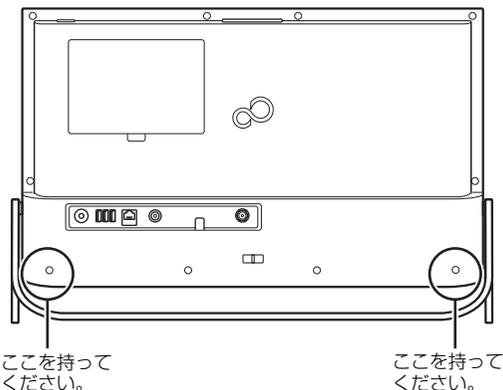
●FHシリーズ（23.8型ワイド）の場合

- ・パソコン本体背面にACアダプタなどのケーブル類を接続したり、取り外したりするときは、パソコン本体を手で軽く支えてください。



（これ以降のイラストは設置状況により異なります）

- ・FHシリーズ（23.8型ワイド）の場合、液晶ディスプレイを手前にして、正面と背面からパソコン本体底面に手を入れ、両端下部を持ってください、その際、液晶ディスプレイを傷付けないようにご注意ください。また、スタンド部分は絶対に持たないでください。変形や破損の恐れがあります。



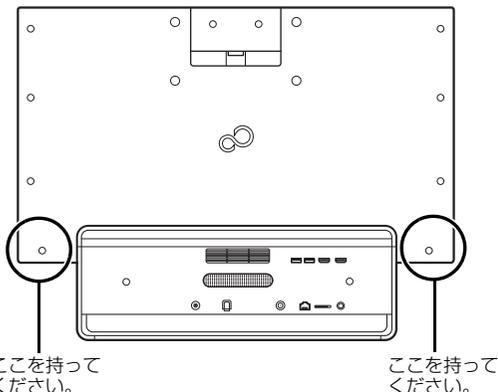
■パソコンを移動する場合の注意

□移動する前の準備

- ・必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約5秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクが故障する原因となります。
- ・ACアダプタ／電源ケーブルや、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください（→P.15）。
- ・パソコン本体にSDメモリーカードなどをセットしている場合は、必ずSDメモリーカードなどを取り外してください。

□移動するときの注意

- ・液晶ディスプレイは、絶対に触れないでください。故障や破損の原因となります。
- ・スピーカー部分は、強く押さないでください。故障や破損の原因となります。
- ・FHシリーズ（27型ワイド）の場合、液晶ディスプレイ部分を手前にして、ディスプレイの両側下部を持ってください。その際、液晶ディスプレイを傷付けないようにご注意ください。



□ACアダプタ／電源ケーブルの取り外し方

●DHシリーズ（WD2/B2）の場合

パソコン本体背面のメインスイッチを「○」側に切り替えた後、「セットアップする」▶「電源に接続する」と逆の手順で電源ケーブルなどを取り外します。LANケーブルやUSBケーブルなども各コネクタから取り外します。

●その他の機種の場合

「セットアップする」▶「電源に接続する」と逆の手順で電源ケーブルなどを取り外します。LANケーブルやUSBケーブルなども各コネクタから取り外します。

■液晶ディスプレイおよびタッチパネルの取り扱い上の注意

- ・液晶ディスプレイおよびタッチパネル部分をたたいたり強く押ししたりしないでください。また、引っかいたり先のとがったもので押ししたりしないでください。
- ・液晶ディスプレイおよびタッチパネルにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

・直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

・誘導雷

パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。

雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

また、場合によっては、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- ・直射日光が当たらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- ・目と画面との距離をとり、疲れにくい位置を保って利用しましょう。
- ・1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。
- ・続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間をとりましょう。
休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

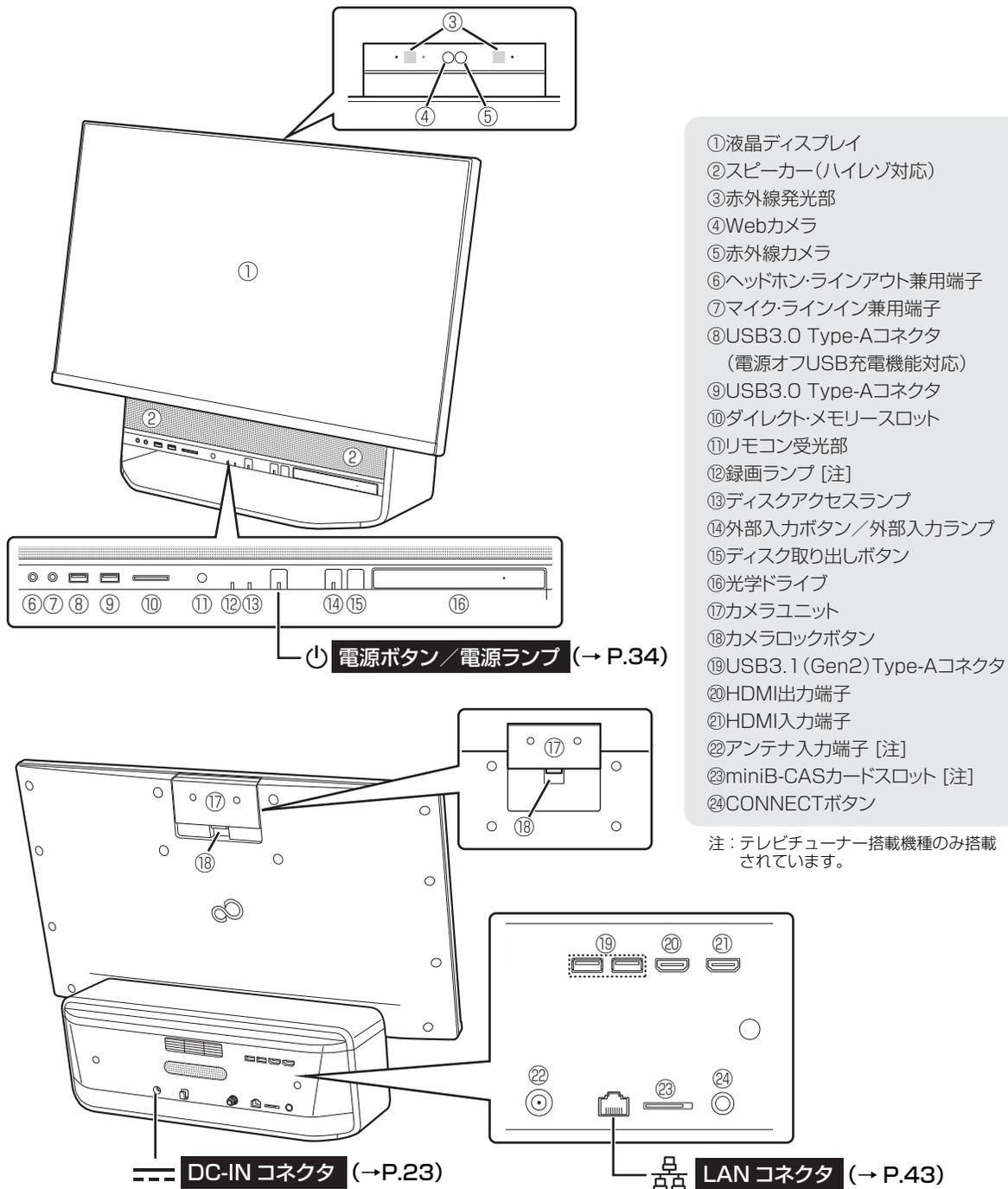
各部の名称について

このパソコンの主な各部の名称は次のとおりです（イラストは機種や状況により異なります）。

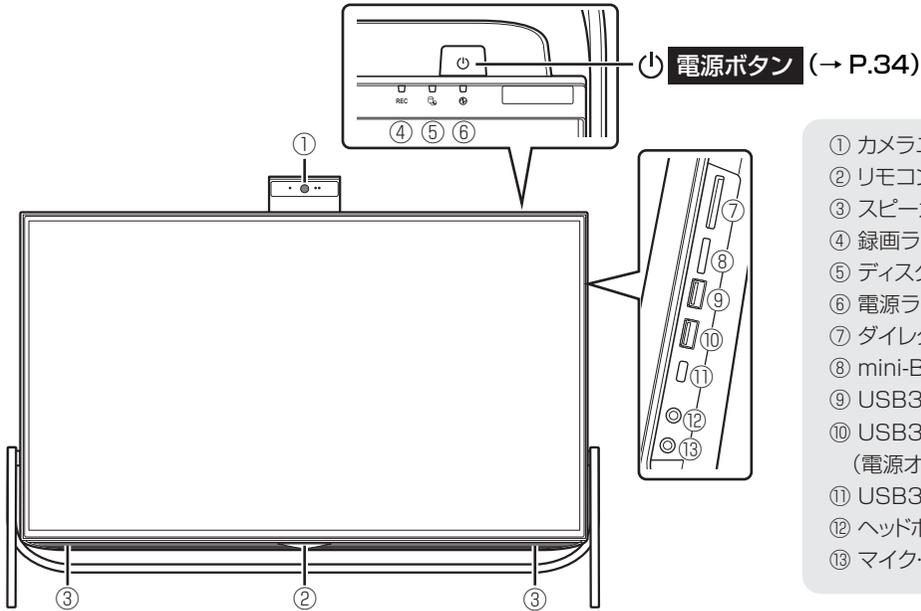
Point

- ▶ ここに掲載されていない部分の名称や、各部の働きなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「各部の名称と働き」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。

■FHシリーズ（27型ワイド）



■FHシリーズ (23.8型ワイド)



- ① カメラユニット
- ② リモコン受光部[注1]
- ③ スピーカー
- ④ 録画ランプ[注2]
- ⑤ ディスクアクセスランプ
- ⑥ 電源ランプ
- ⑦ ダイレクト・メモリスロット
- ⑧ mini-BCASカードスロット[注2]
- ⑨ USB3.0Type-Aコネクタ
- ⑩ USB3.0Type-Aコネクタ
(電源オフUSB充電機能対応)
- ⑪ USB3.1Type-Cコネクタ[注3]
- ⑫ ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
- ⑬ マイク・ラインイン兼用端子

- ⑭ 背面カバー
- ⑮ 転倒防止フック
- ⑯ 光学ドライブ
- ⑰ CONNECTボタン
- ⑱ USB Type-Aコネクタ[注4]
- ⑲ アンテナ入力端子[注2]

注1：テレビチューナー搭載機種のみ

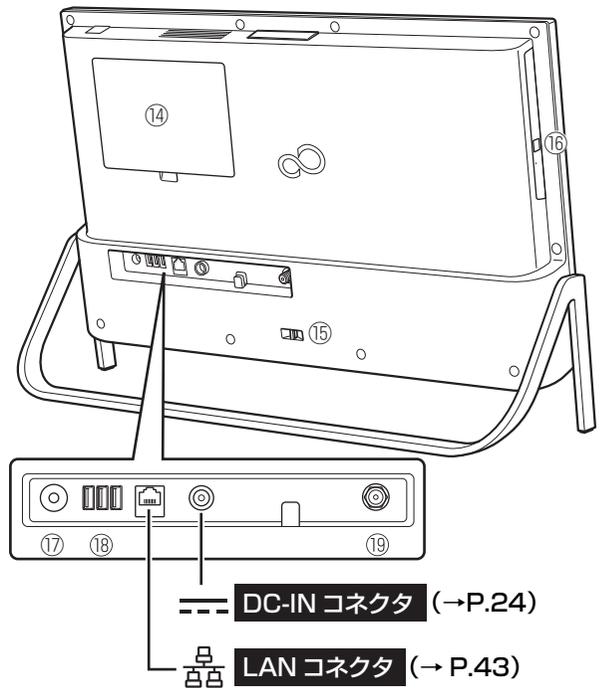
テレビチューナー非搭載機種の場合は、リモコン受光部として動作しません。

注2：テレビチューナー搭載機種のみ

詳しくは『テレビ操作ガイド』をご覧ください。

注3：FH77/B1の場合、またはWF1/B1でCPUにインテル® Core™ i7-7700HQを選択した場合は、USB3.1(Gen2)になります。その他の機種では、USB3.1(Gen1)になります。

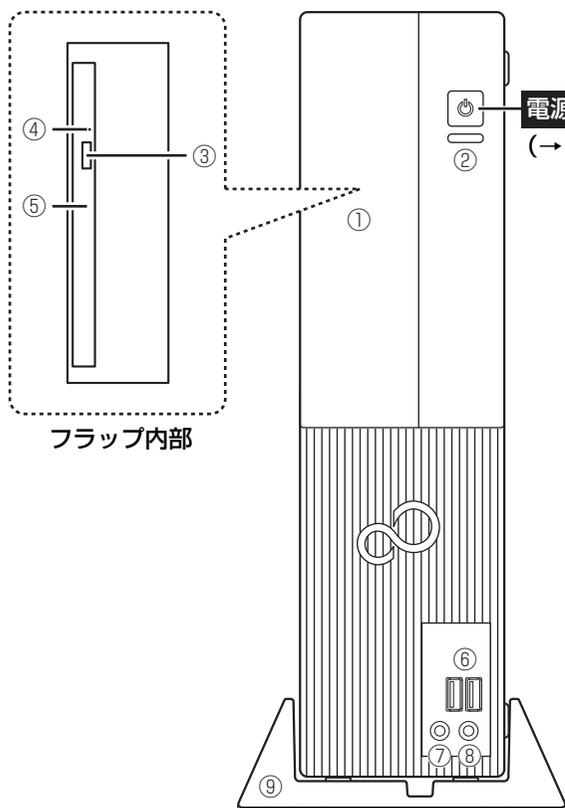
注4：FH77/B1の場合、またはWF1/B1でCPUにインテル® Core™ i7-7700HQを選択した場合は、USB3.0になります。その他の機種では、向かって一番右がUSB3.0、残りの2つがUSB2.0になります。



DC-IN コネクタ (→P.24)

LAN コネクタ (→ P.43)

■DH シリーズ (WD2/B2)

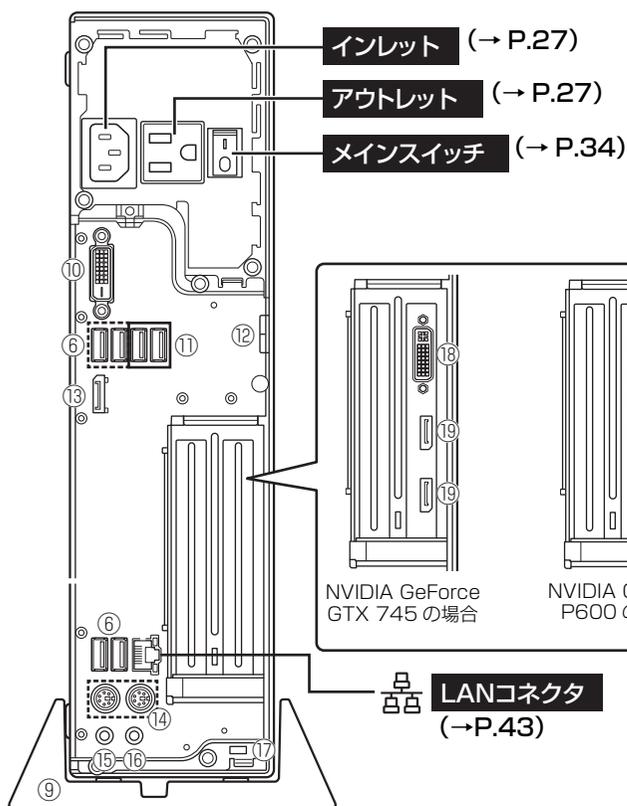


電源ボタン / 電源ランプ
(→ P.34)

フラップ内部

- ①フラップ
- ②ディスクアクセスランプ
- ③取り出しボタン
- ④強制取り出し穴
- ⑤光学ドライブ
- ⑥USB3.0コネクタ
- ⑦ヘッドホン端子
- ⑧マイク端子
- ⑨フット(設置台)
- ⑩DVI-Dコネクタ[注]
- ⑪USB2.0コネクタ
- ⑫セキュリティ施錠金具
- ⑬DisplayPortコネクタ[注]
- ⑭PS/2コネクタ
- ⑮ラインアウト端子
- ⑯ラインイン端子
- ⑰盗難防止用ロック取り付け穴
- ⑱DVI-Iコネクタ
- ⑲DisplayPortコネクタ
- ⑳MiniDisplayPortコネクタ
- ㉑USB3.1 Type-Cコネクタ

注：カスタムメイドでグラフィックボードを選択した場合は、このコネクタは利用できません。グラフィックボード側のコネクタを利用してください。



インレット (→ P.27)

アウトレット (→ P.27)

メインスイッチ (→ P.34)

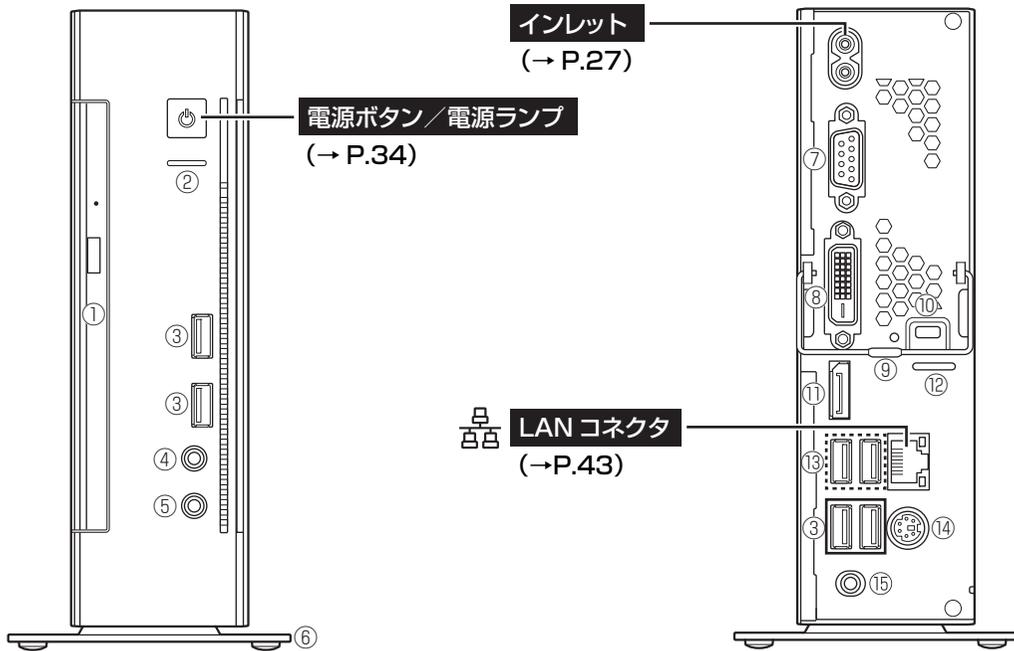
LANコネクタ
(→P.43)

NVIDIA GeForce
GTX 745 の場合

NVIDIA Quadro
P600 の場合

USB3.1 Type-C
の場合

■DH シリーズ (WD1/B2)



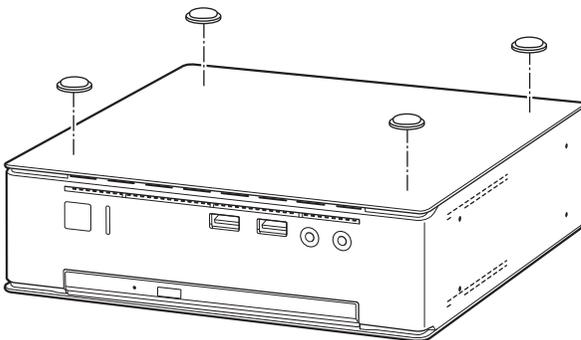
- ① 光学ドライブ[注]
- ② ディスクアクセスランプ
- ③ USB3.0 コネクタ
- ④ ヘッドホン端子
- ⑤ マイク端子
- ⑥ フット(設置台)

- ⑦ シリアルコネクタ
- ⑧ DVI-D コネクタ
- ⑨ ロック金具
- ⑩ 盗難防止用ロック取り付け穴
- ⑪ DisplayPort コネクタ
- ⑫ セキュリティ施錠金具
- ⑬ USB2.0 コネクタ
- ⑭ PS/2 コネクタ
- ⑮ ラインアウト端子

注：次の機種に搭載されています。
 ・BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種
 ・スーパーマルチドライブ搭載機種

Point

▶ 横置きに設置する場合は、添付のゴム足を底面に取り付けてください。



セットアップする

セットアップの流れを確認する

パソコンの準備をする (→ P.22)

- **セットアップ前に周辺機器を接続しないでください**

プリンター、LAN ケーブル、USB メモリ、メモリーカードなどは、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。

電源を入れる

FHシリーズの場合、途中から音声での案内が始まります。必要に応じて音量を調整してください。

Windows のセットアップをする (→ P.34)

ローカルアカウントでセットアップします。

所要時間 20 分程度です。

- **インターネットに接続しないでください**

インターネットに接続して Windows のセットアップを行うと、非常に時間がかかり 1 時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。

- **この間は絶対に電源を切らないでください**

途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

ネット接続して行います

インターネットに接続する (→ P.43)

Microsoft アカウントに切り替える (→ P.47)

新規取得、またはお持ちの Microsoft アカウントに切り替えます。

所要時間 10 分程度です。

「Microsoft アカウント」については「Microsoft アカウントとは」(→ P.47) をご覧ください。

再起動 (Microsoft アカウントでサインイン)

「はじめに行う設定」で初期設定する (→ P.53)

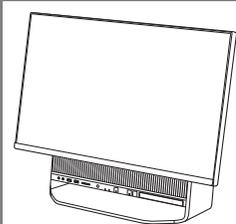
「はじめに行う設定」というアプリのガイドに従って「ユーザー登録」や「Office のセットアップ」などを行うと、パソコンを快適にお使いいただけます。

さあ、セットアップを始めましょう！

パソコンの準備をする

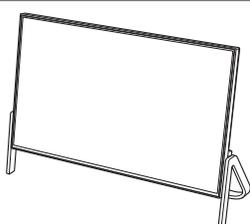
お使いの機種に合わせてご覧ください。

FH シリーズ
(27 型ワイド)



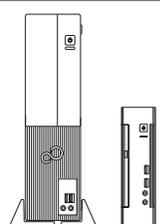
→ P.23

FH シリーズ
(23.8 型ワイド)



→ P.24

DH シリーズ
(分離型)



→ P.25

重要

- ▶ キーボード、マウス、AC アダプタ、電源などのケーブルを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。



FH シリーズ (27 型ワイド)

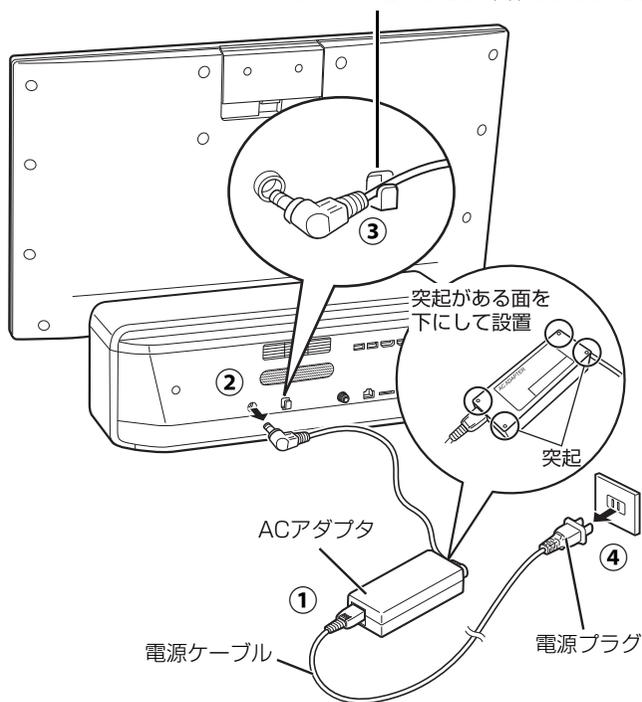
■電源に接続する

接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。しっかりと差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になる場合があります。

AC アダプタをパソコン本体に接続します。

- ① 電源ケーブルをACアダプタに取り付けます。
ACアダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。また、ACアダプタの四隅に突起がある方を下にして設置してください。
- ② ACアダプタをDC-INコネクタに取り付けます。
- ③ ケーブルを固定します。
- ④ 電源プラグをコンセントに接続します。

ケーブルをパソコン本体のフックにはめ込みます。



➡ この後は、「キーボード/マウスを準備する (FH シリーズ)」(→ P.30) に進んでください。

FHシリーズ (23.8 型ワイド)

■電源に接続する

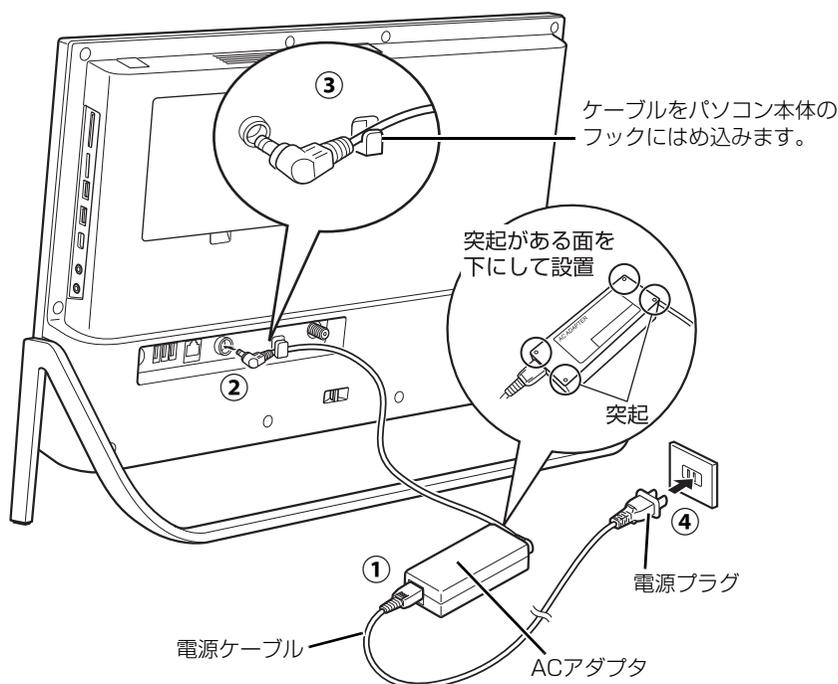
接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。しっかり差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になる場合があります。

Point

- ▶ パソコン本体背面にケーブル類を接続するときは、パソコン本体の転倒に充分ご注意ください。詳しくは、「パソコン本体背面へのケーブル類の接続／取り外しに関する注意」(→ P.15) をご覧ください。

ACアダプタをパソコン本体に接続します。

- ① 電源ケーブルをACアダプタに取り付けます。
ACアダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。また、ACアダプタの四隅に突起がある方を下にして設置してください。
- ② ACアダプタをDC-INコネクタに取り付けます。
- ③ ケーブルを固定します。
- ④ 電源プラグをコンセントに接続します。



➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する (FHシリーズ)」(→ P.30) に進んでください。



DHシリーズ（分離型）

■フット（設置台）を取り付ける

パソコンを縦置きにする場合、フット（設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。必ず取り付けてください。

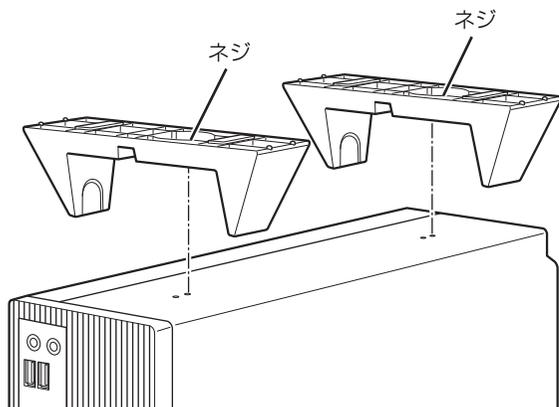
①パソコン本体を上下さかさまにします。

本体に傷が付かないように、下に布などを敷いてください。

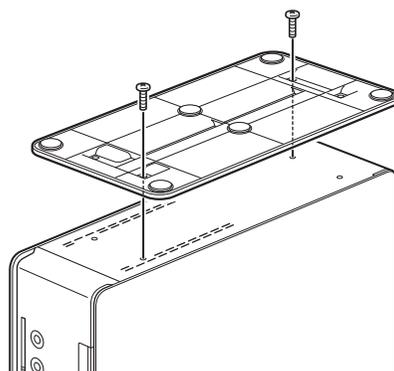
②パソコン本体底面にフットを取り付けます。

フットのネジと、パソコン本体底面のネジ穴を合わせて固定します。

DHシリーズ（WD2/B2）



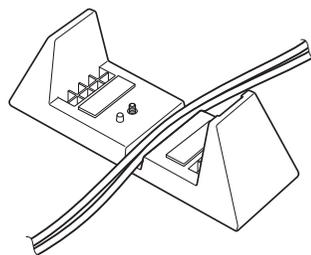
DHシリーズ（WD1/B2）



（イラストは機種や状況により異なります）

Point

- ▶ DHシリーズ（WD2/B2）の場合、キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。



■ディスプレイを接続する

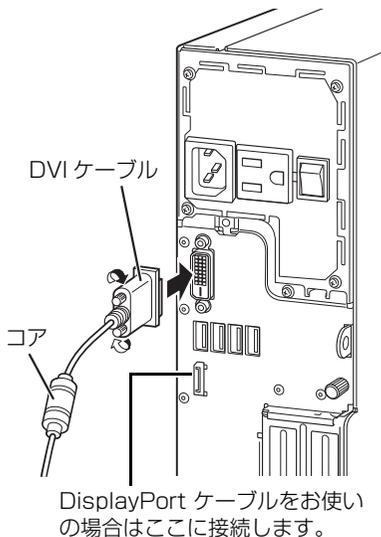
パソコン本体に、DVI-D コネクタと DisplayPort の 2 種類のコネクタが用意されています。お使いになるディスプレイのケーブルの種類に合わせ、奥までしっかりと差し込んでください。ご購入時にグラフィックカードを選択した場合は、本体側のコネクタはお使いになれません。グラフィックカード側のコネクタに接続してください。お使いのディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

Point

- ▶ このパソコンではディスプレイを 2 台接続して、同時表示や、マルチモニター機能を使用することができます。ただし、セットアップが終了するまでは、ディスプレイは 1 台のみパソコンに接続して操作してください。セットアップ終了後に 2 台目のディスプレイを接続してください。📖『取扱説明書<活用ガイド>』の「ディスプレイ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。
- ▶ ディスプレイに 2 本以上ケーブルがある場合、このパソコンには 1 本のみ接続してください。

DH シリーズ (WD2/B2)

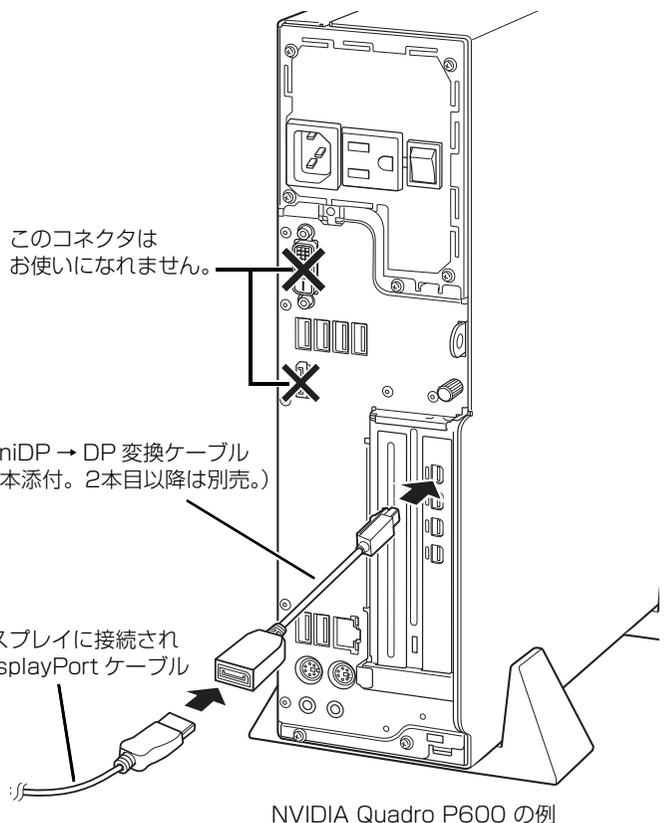
・ CPU 内蔵グラフィックを選択した場合



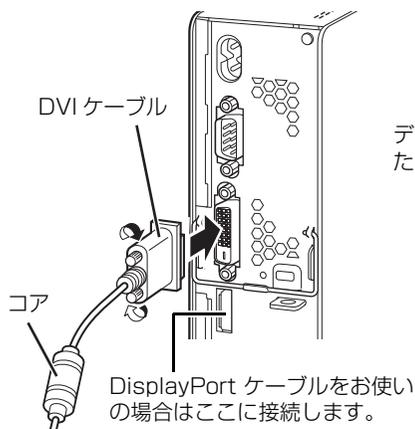
DH シリーズ (WD2/B2)

・ グラフィックカードを選択した場合

選択したグラフィックカードにより、コネクタの種類が異なります。コネクタの種類については、「各部の名称について」(→ P.19) でご確認ください。また、別売の変換ケーブルが必要な場合があります。



DH シリーズ (WD1/B2)



(イラストは機種や状況により異なります)

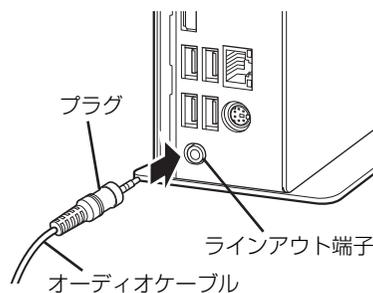
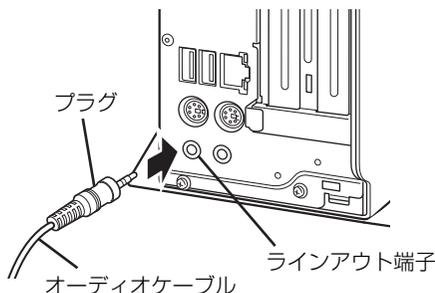
■オーディオケーブルを接続する

スピーカー内蔵ディスプレイ（別売）をお使いの場合、ディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

ラインアウト端子（) に、ディスプレイ（別売）などのオーディオケーブルを接続します。

DH シリーズ (WD2/B2)

DH シリーズ (WD1/B2)

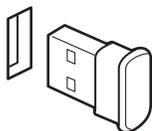


(イラストは機種や状況により異なります)

■ワイヤレスレシーバーを取り付ける

ご購入時にワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウスを選択した場合は、ワイヤレスレシーバー（電波の受信部）が添付されています。

パソコン本体の USB コネクタに取り付けます。



Point

- ▶ ご購入時に無線LANを選択した場合は、電波の干渉を防ぐため、本体背面のUSBコネクタに接続してください。

■電源に接続する

接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。しっかり差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になる場合があります。

お使いの機種に合わせてご覧ください。

- DH シリーズ (WD2/B2) → P.28
- DH シリーズ (WD1/B2) → P.29

□DH シリーズ (WD2/B2) の場合

- ① ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続します。

Point

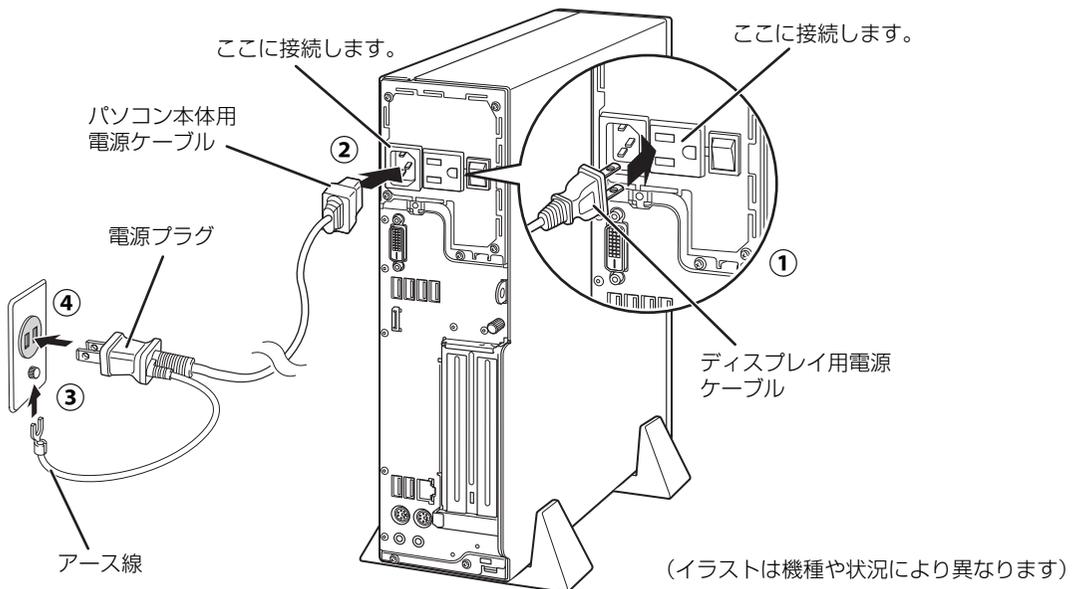
- ▶ ディスプレイを DisplayPort コネクタに接続しているときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。
- ▶ グラフィックカードを選択したときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。
- ▶ 他社製のディスプレイを接続しているときは、ディスプレイ用の電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。

- ② パソコン本体用電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。

- ③ アース線をコンセントのアースネジに差し込みます。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

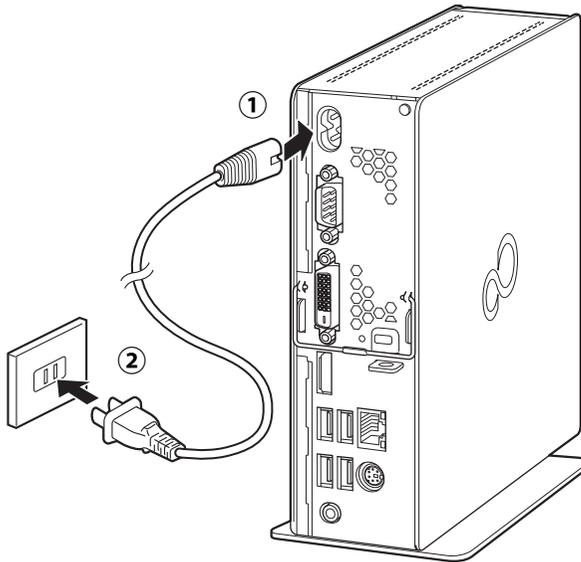
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する (DH シリーズ)」 (→ P.32) に進んでください。

□DH シリーズ (WD1/B2) の場合

- ① 電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

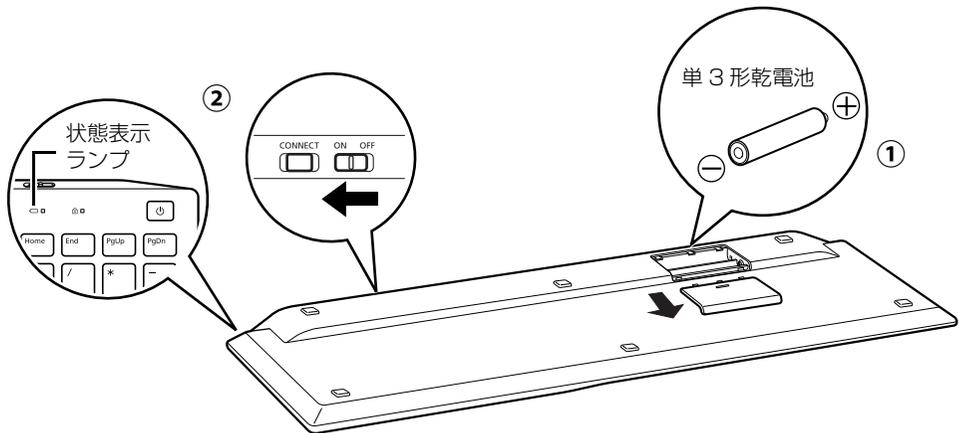


➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する (DH シリーズ)」 (→ P.32) に進んでください。

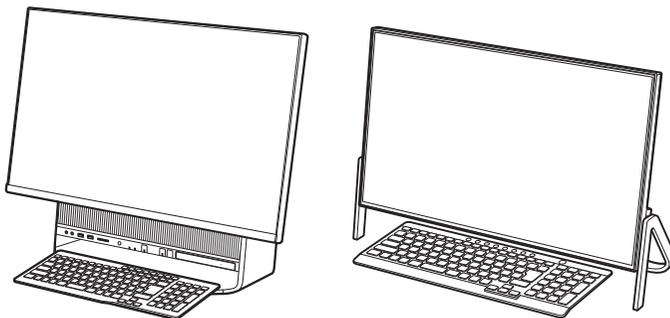
キーボード／マウスを準備する (FH シリーズ)

1 ワイヤレスキーボードの電源を入れます。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを矢印の方向にスライドして開け、添付の単3形乾電池を入れます。その後、電池ボックスのふたを矢印と逆の方向にスライドして閉めます。電池ボックスのふたを無理に押し込もうとすると破損する場合がありますのでご注意ください。
- ② 電源スイッチをON側にして、電源を入れます。
状態表示ランプが緑色に点滅します。消灯したままの場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



- ③ 状態表示ランプが点滅したら、すぐにワイヤレスキーボードをパソコンの画面中央下に置きます。
※必ず、すぐにパソコンの下に置いてください。



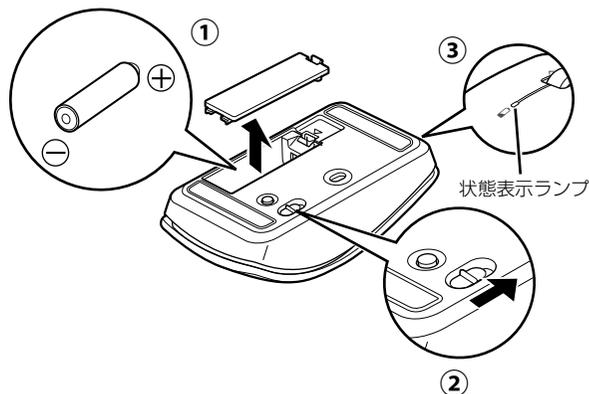
状態表示ランプが消灯したら次の手順に進みます。

Point

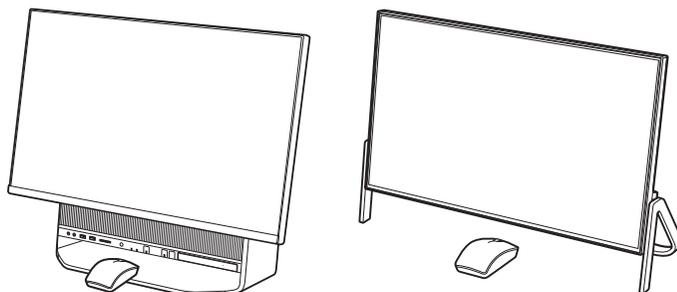
- ▶ キーボードを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、キーボードの電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

2 ワイヤレスマウスの電源を入れます。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。
その後、電池ボックスのふたを閉めます。
- ② 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。
- ③ 状態表示ランプを確認します。
状態表示ランプが緑色に点滅します。消灯したままの場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



- ④ 状態表示ランプが点滅したら、すぐにワイヤレスマウスをパソコンの画面中央下に置きます。
※必ず、すぐにパソコンの下に置いてください。



状態表示ランプが消灯したら手順は完了です。

Point

- ▶ マウスを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、マウスの電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

👉 この後は、「Windows のセットアップをする」(→ P.34) に進んでください。

キーボード／マウスを準備する (DH シリーズ)

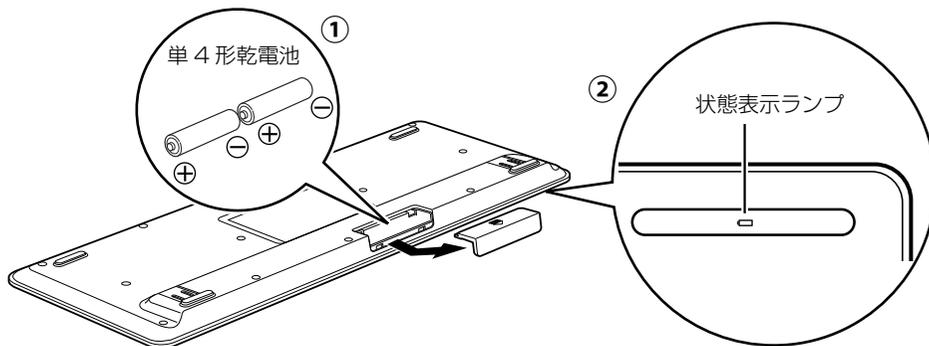
添付されているキーボード／マウスの種類に合わせてお読みください。

- ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス (→ P.32)
- USB キーボード／USB マウス (→ P.33)

■ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス

1 ワイヤレスキーボードの電源を入れます。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを矢印の方向にスライドして開け、添付の単4形乾電池を入れます。その後、電池ボックスのふたを矢印と逆の方向にスライドして閉めます。電池ボックスのふたを無理に押し込もうとすると破損する場合がありますのでご注意ください。
- ② 状態表示ランプを確認します。
状態表示ランプがオレンジ色に点滅したままになります。点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



2 ワイヤレスマウスの電源を入れます。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。
その後、電池ボックスのふたを閉めます。
- ② 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。
- ③ 状態表示ランプを確認します。
状態表示ランプが緑色に点滅したままになります。点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



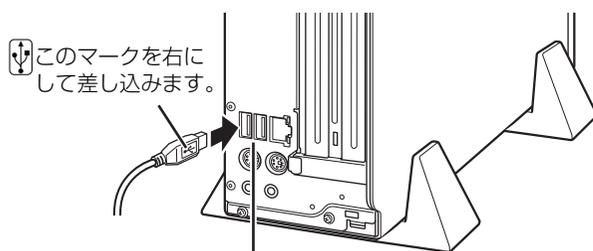
Point

- ▶ マウスを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、マウスの電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

■USB キーボード / USB マウス

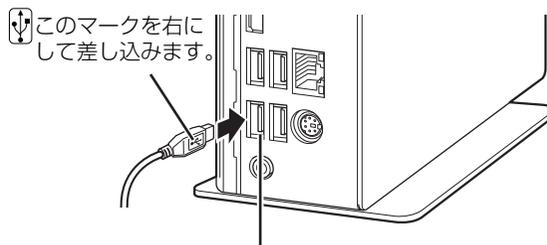
キーボードとマウスを、パソコン本体の USB コネクタに接続します。

DH シリーズ (WD2/B2)



USB コネクタ
どの USB コネクタに接続してもかまいません。

DH シリーズ (WD1/B2)



USB コネクタ
どの USB コネクタに接続してもかまいません。

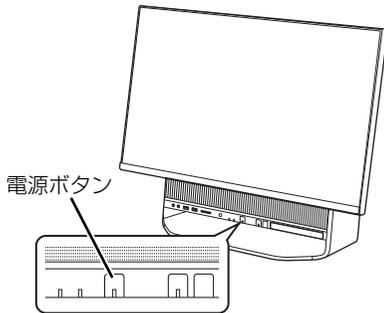
(イラストは機種や状況により異なります)

👉 この後は、「Windows のセットアップをする」(→ P.34) に進んでください。

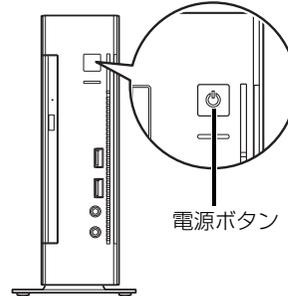
Windows のセットアップをする

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。

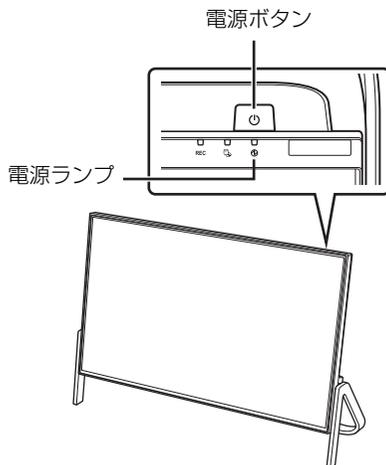
FH シリーズ (27 型ワイド)



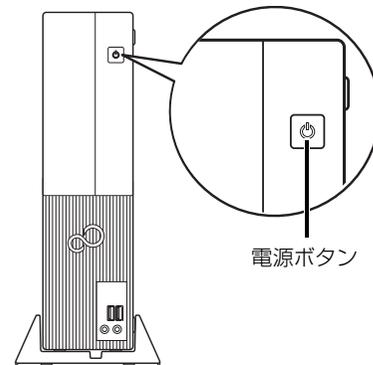
DH シリーズ (WD1/B2)



FH シリーズ (23.8 型ワイド)



DH シリーズ (WD2/B2)

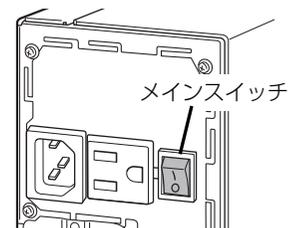


Point

▶ DH シリーズ (WD2/B2) をお使いの場合、電源ボタンを押す前に次の操作を行ってください。

・最初の一度だけ、背面のメインスイッチを「|」側にします。トラブルが起きた場合や長期間使わない場合を除き、「|」側のままでお使いください。

・パソコンの電源を入れたあと、ディスプレイの電源を入れます。ディスプレイの電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続している場合は、これ以後はパソコンと連動してディスプレイの電源が入ります。



2 FHシリーズの場合は次の画面が表示されます。画面の説明をご覧になり、**[C]**を押します。

DHシリーズの場合は手順3から操作してください。

◆ パソコンのセットアップを行う前に ◆

セットアップを行う前に、ワイヤレスキーボードおよびマウスの準備が必要です。

1. キーボードおよびマウスに電池を入れます。
キーボード側面の電源スイッチをON側にし、キーボードの電源を入れます。
状態表示ランプが<消灯>している場合は、**[C]**キーを押してください。
2. 状態表示ランプが<点滅>している場合は、すぐにキーボードをパソコン画面中央下に置きます。必ずパソコン本体から10cm以内に置いてください。
状態表示ランプが<点滅>から<点灯>、<消灯>したら手順3に進みます。
3. マウスの裏面の電源スイッチをON側にし、マウスの電源を入れます。
4. 状態表示ランプが緑色に<点滅>している場合は、すぐにマウスをパソコンの画面中央下に置きます。必ずパソコン本体から10cm以内に置いてください。
状態表示ランプが<点滅>から<点灯>、<消灯>したら準備は終了です。

準備ができたなら**[C]**キーを押してください。

※キーを押しても反応しない場合は、キーボード側面の電源スイッチ横にある「CONNECT」ボタンを押し、手順2を行って再設定してください。

※本画面は**[C]**キーを押した後、表示されなくなります。

3 画面に表示される注意事項をよくご覧になり、**[Y]**を押します。

◆ セットアップの注意事項 ◆

これからセットアップを開始します。
下記注意事項をよくお読みになり、セットアップを開始してください。

- 時間に余裕をもって作業してください。セットアップには半日以上時間をとり、じっくりと作業をすることをお勧めします。
- 操作の途中で電源を切らないでください。
途中で電源を切ると、Windowsが使えなくなる場合があります。セットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
- セットアップ前に周辺機器を接続しないでください。
別売りの周辺機器（プリンター、USBメモリ、メモリーカードなど）は、Windowsのセットアップが終わるまで接続しないでください。接続している場合は、下記**[N]**を押し、外してからセットアップを開始してください。

次のいずれかのキーを押してください。

[Y]：セットアップを続行します。

[N]：セットアップを中止します（後でセットアップ）。

※**[N]**を押したあと、自動的に電源が切れます。

本画面はセットアップ完了後表示されなくなります。

[N]を押した場合、再度セットアップを開始するときは、電源を入れ直してください。

■DHシリーズの場合は手順6に進んでください。

重要

▶ Windowsのセットアップが終わるまで絶対に電源を切らないでください。

4 FHシリーズの場合はPCの設定の説明画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

音声での案内が始まります。



「こんにちは」画面が表示された場合

左の画面が表示されずに「こんにちは」画面が表示された場合は、これ以降の手順が異なります。

「「こんにちは」画面が表示されたときは」(→ P.83) をご覧ください。



Point

- ▶ しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。マウス、キーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン (⏻) をポチッと押してください。

5 音量の調節をします。

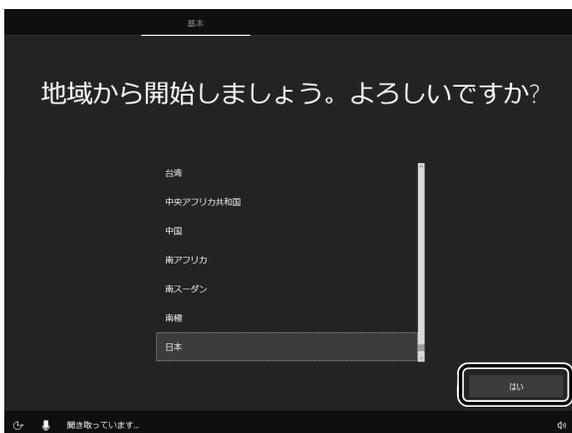
画面右下の①ボリュームをクリックし、②スライダーを左右に動かして音量の調節をします。③スピーカーアイコンをクリックして  にするとミュート (音を消す) にできます。



Point

- ▶ FHシリーズの場合、マウスで操作できない場合は、マウス底面の電源スイッチを OFF 側にして電源を切り、電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、「よくあるトラブルと解決法」の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのトラブル」(→ P.71) をご覧ください。

6 「はい」をクリックします。

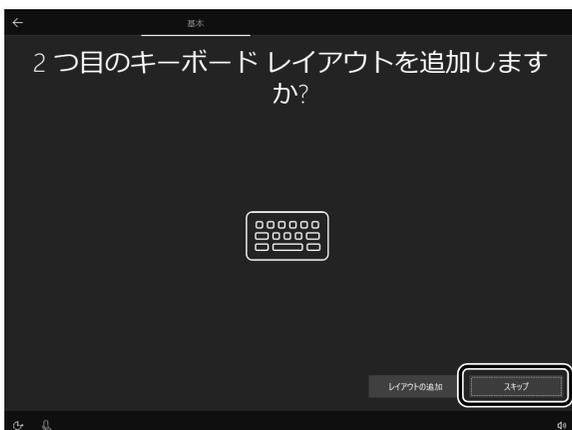


7 「はい」をクリックします。

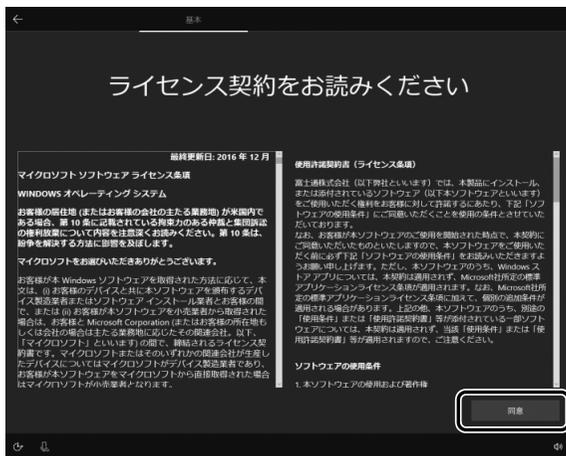


8 「スキップ」をクリックします。

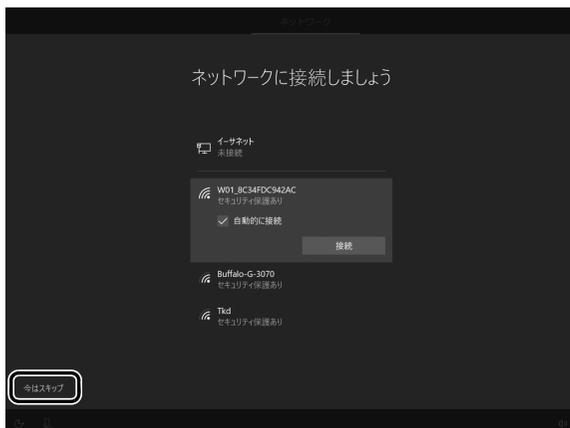
他の言語を入力できるようにしたい場合は「レイアウトの追加」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。



9 ライセンス条項をよく読みます。読み終わったら「同意」をクリックします。



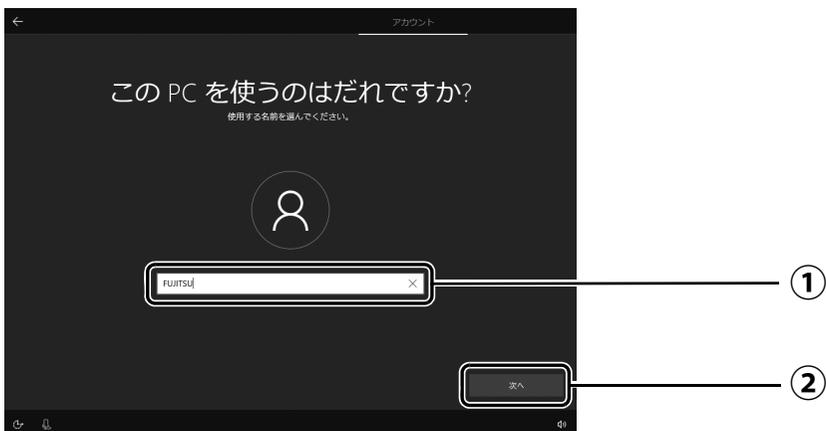
10 「今はスキップ」をクリックします。



重要

- ▶ インターネットに接続せず Windows のセットアップをするために、「今はスキップ」をクリックしてください。
インターネットに接続して Windows のセットアップを行うと、非常に時間がかかり 1 時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。

11 ローカルアカウントを作成します。



① 「ユーザー名」を入力します。

12文字以内の半角英数字(a～z、A～Z、0～9)でお好きな名前を入力してください。

② 「次へ」をクリックします。

重要

- ▶ 次の文字や文字列はユーザー名に使えませんので、入力しないでください。
 - ・@、%、/、-などの記号や空白（スペース）
 - ・CON、PRN、AUX、CLOCK\$、NUL、COM1～COM9、LPT1～LPT9の文字列
 - ・ひらがな、カタカナ、漢字など

Point

- ▶ FHシリーズの場合、キーボードで文字入力できない場合は、キーボードの電源スイッチをOFF側にして電源を切り、電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、「よくあるトラブルと解決法」の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのトラブル」(→P.71)をご覧ください。

12 「次へ」をクリックします。

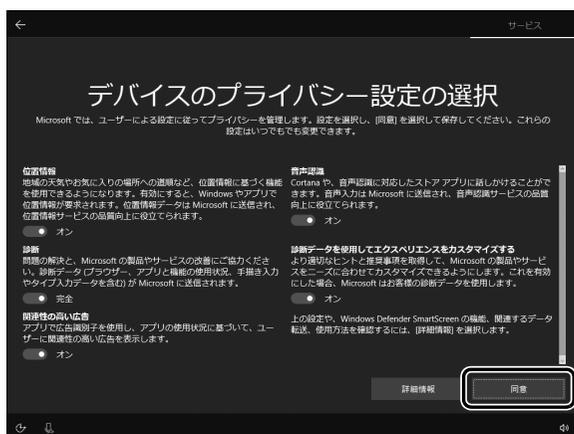
インターネットに接続後、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えるため、ここではパスワードの入力は必要ありません。



13 Cortana の設定画面が表示されたら、「はい」をクリックします。



14 「同意」をクリックします。



15 「富士通サービス&サポートのご利用登録」の説明をよく読んで、ご利用登録をします。



- ① My Cloud アカウント（マイ クラウド アカウント）の ID として登録するメールアドレスを入力します。
ここで入力したメールアドレスは、「マカフィーリブセーフ」のメールアドレス登録にも使用されます。
- ② 「次へ」をクリックします。

ここで入力するメールアドレスについて

● My Cloud アカウントをお持ちでない場合

My Cloud アカウントを取得すると富士通パソコンを快適にお使いいただけます。My Cloud アカウントの ID として登録するメールアドレスを入力します。パスワードのご連絡など重要な通知を行うため、通常よく使うメールアドレスを入力してください。

● My Cloud アカウントをお持ちの場合

登録済みのメールアドレスを入力していただければ、このパソコンの機種追加登録が簡単にできるようになります。

● メールアドレスをお持ちでない場合

何も入力しないで進めてください。メールアドレスを取得後、「富士通パソコンユーザー登録」をするときに My Cloud アカウントを取得できます。

※ メールアドレスを入力した場合は、富士通パソコンユーザー登録をするときに使用するため、「[「はじめに行う設定」で初期設定する](#)」の手順 7（→ P.56）の記入欄に書きとめておくことをお勧めします。

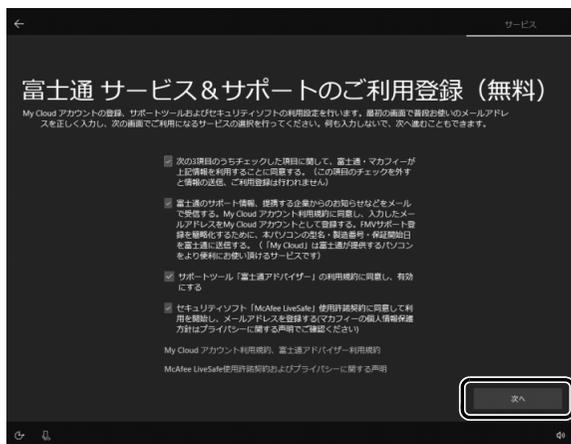
Point

- ▶ 「名」「姓」は何も入力する必要はありません。
- ▶ 「国/地域」は選択する必要はありません。
- ▶ 「パソコンの状態を回復する」（→ P.78）を行った後などの再セットアップのとき、このパソコンが製品登録済みの場合は、①にメールアドレスの入力は必要はありません。

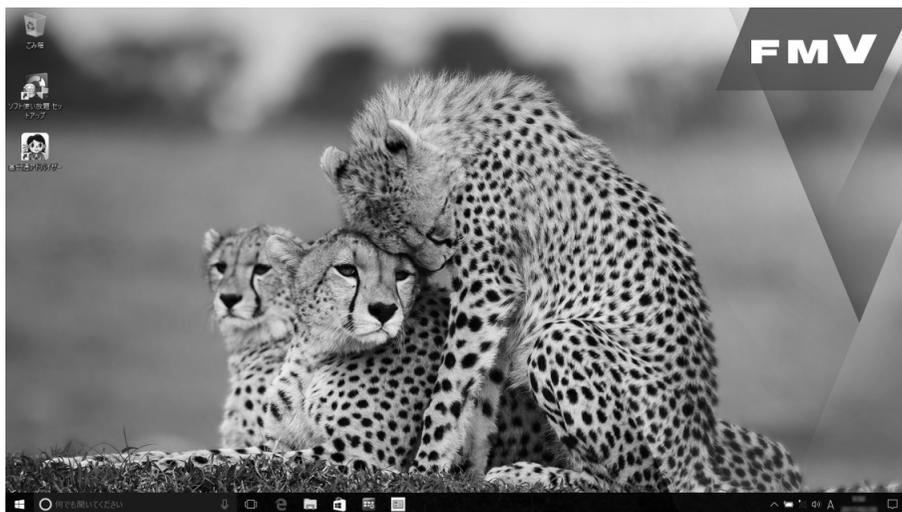
マカフィー リブセーフのユーザー登録で困ったときには

「マカフィー株式会社 テクニカルサポートセンター」へお問い合わせください。
電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：03-5428-2279）
受付時間：9:00～21:00（年中無休）

16 「次へ」をクリックします。



17 デスクトップが表示されるまで待ちます。 デスクトップが表示されるまで画面が何回か変化します。



これで Windows のセットアップは完了です。

➡ この後は、「インターネットに接続する」(→ P.43) に進んでください。

インターネットに接続する

このパソコンをお使いになるときは、有線 LAN または無線 LAN でインターネットに接続してください。

マイクロソフト社のサービスを受けるために必要です。また弊社のインターネットを使用したサポートや各種サービスなどが活用できるようになります。

インターネット接続方法はご契約のプロバイダーにお問い合わせください

インターネットに接続するための設定方法や情報は、ご契約のプロバイダーから提供されます。プロバイダーの指示に従って、インターネット接続設定をしてください。



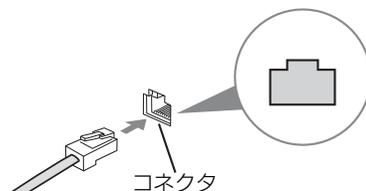
- ▶ データ通信カードやアダプター、モバイル Wi-Fi ルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ▶ データ通信機器に関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

有線 LAN でインターネットに接続する（有線 LAN コネクタ搭載機種または LAN 変換ケーブル／アダプタ対応機種のみ）

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルをパソコン側の LAN コネクタに接続し、もう一方をお使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。



- ▶ コネクタ類の位置は「各部の名称について」（→ P.17）で確認してください。
- ▶ LAN ケーブルを接続するときは、コネクタの向きを確認してしっかり差し込んでください。



無線 LAN でインターネットに接続する

無線 LAN 搭載機種で、無線 LAN アクセスポイントと内蔵無線 LAN を使って、Windows 10 の標準機能でインターネットに接続する方法を紹介します。



- ▶ 無線 LAN が搭載されていない場合は、有線 LAN または別売の無線 LAN アダプターをお使いください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、パスワードを設定するなどセキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。
- ▶ 設定方法について詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。設定方法についてわからないときは、無線 LAN アクセスポイントの製造会社に問い合わせてください。

- ▶ 5GHz帯チャンネルに対応した無線LAN搭載モデルでは、パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

Point

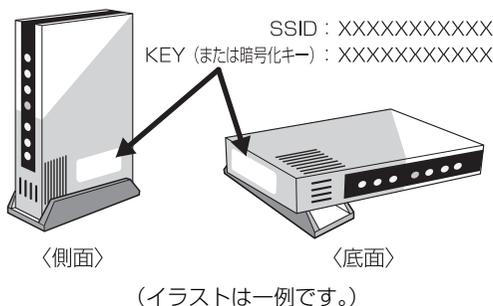
- ▶ 無線LANアクセスポイントではなくルーターなどと呼ばれる機器でも同じように設定できる場合があります。

Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、ネットワーク名と (SSID) パスワードを設定してください。

Point

- ▶ 無線 LAN アクセスポイントやルーターのパスワード (KEY、暗号化キーなど) は、出荷時に設定されている場合があります。その場合は、機器本体の側面や底面、またはマニュアルに記載されていることがあります。

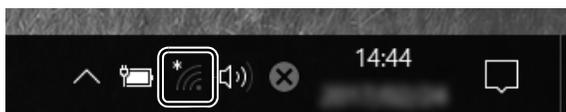


Step2 パソコンの設定をする

Windows 10 の標準機能を使って無線 LAN の設定を行う方法を説明します。

- 1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。**
無線 LAN アクセスポイントの電源の入れ方については、無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。

- 2 画面右下の通知領域の  をクリックします。**



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

3 Step1 で設定した無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリックします。

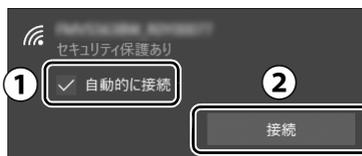


ネットワーク名 (SSID) が表示されず「無効」と表示されているときは、「Wi-Fi」をクリックして「オン」にしてください。

Point

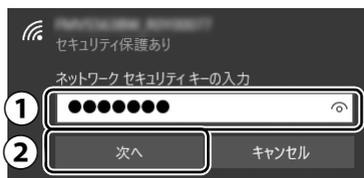
- ▶ セキュリティのためネットワーク名 (SSID) が表示されないようにしている場合は、「非公開のネットワーク」をクリックし画面の指示に従って操作してください。「非公開のネットワーク」は画面下に隠れていることがあります。ネットワーク名の一覧を上スクロールしてください。

4 ①「自動的に接続する」の□をクリックして☑にし、②「接続」をクリックします。



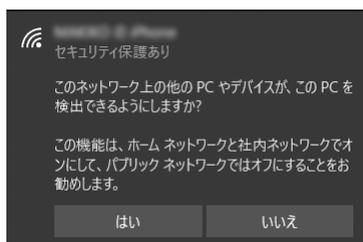
5 ① Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力し、②「次へ」をクリックします。

「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント（ルーター）のボタンを押して接続できる場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



6 「このネットワーク上の他の PC やデバイスが、この PC を検出できるようにしますか？」と表示されたら、お使いの状況に合わせ、「はい」か「いいえ」をクリックします。

よくわからない場合は「いいえ」を選択してください。



7 正しく設定できたか確認します。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- ▶ 「接続済み」と表示されなかった場合は、もう一度、Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したパスワードを確認してください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線 LAN アクセスポイントの設定がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

➡ この後は、「Microsoft アカウントに切り替える」(→ P.47) に進んでください。

Microsoft アカウントに切り替える

Microsoft アカウントとは

マイクロソフト社が提供するサービスを利用するためのアカウントです。

「Office」(Office 搭載機種)、OneDrive、「ストア」などのサービスは、Microsoft アカウントがないと利用できません。

Microsoft アカウントで Windows にサインインすれば、マイクロソフト社の各サービスに一括でサインインできるようになり便利です。

できるだけ早く Microsoft アカウントに切り替えることをお勧めします。

Microsoft アカウント作成で困ったときは

Microsoft アカウントに切り替える操作については、日本マイクロソフト株式会社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社 Answer Desk (アンサーデスク)

※ お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。

電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金 / 9:00～18:00、土・日 / 10:00～18:00 (祝祭日、指定休業日を除く)

マイクロソフト コミュニティ

URL : <http://answers.microsoft.com/ja-jp/>

Microsoft アカウント切り替え方法

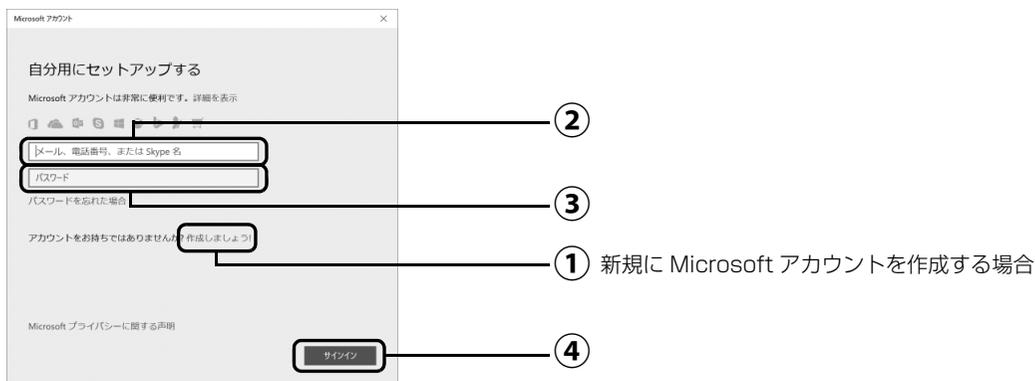
1 画面左下の   (設定) ▶ 「アカウント」の順にクリックします。

2 ① 「ユーザーの情報」をクリックし、② 「Microsoft アカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

3 「自分用にセットアップする」が表示されたら、次のように操作します。



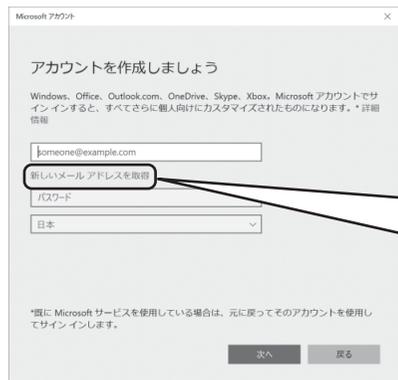
■新規に Microsoft アカウントを作成する場合

- ① 「作成しよう！」をクリックします。
手順 4 に進んでください。

■すでにお持ちの Microsoft アカウントに切り替えたい場合

- ② Microsoft アカウントを入力し、③ パスワードを入力し、④ 「サインイン」をクリックします。
手順 9 に進んでください。

4 「アカウントを作成しよう」が表示されたら「新しいメールアドレスを取得」をクリックします。



新しいメールアドレスを取得するためこちらをクリックしてください。

5 Microsoft アカウントになるメールアドレスを新規に作成します。

- ① Microsoft アカウント（メールアドレス）として使いたい文字列を入力します。
半角英数字（a～z、A～Z、0～9）およびピリオド（.）、ハイフン（-）、下線（_）のみ使用できます。
入力後、「このメールアドレスは既に使われています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力するか、「次の中から選んでください」をクリックして表示される候補からメールアドレスを選択します。
- ② パスワードを入力します。

【パスワードの作成例】

半角英字

半角数字

半角記号

ab1-c23d4
8文字以上

安全性を高めるため、8文字以上で、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）および半角記号を組み合わせて作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

- ③ 「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ 「次へ」をクリックしたとき、「日本」の上に「この情報は必須です。」というメッセージが表示され、次に進めないことがあります。その場合は「日本」の右側の をクリックし、「日本」を選択しなおしてから、再度「次へ」をクリックしてください。

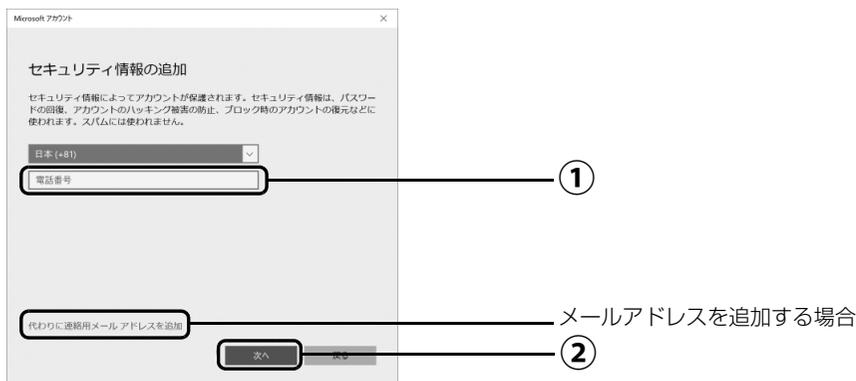
6 次の欄に手順5で作ったMicrosoftアカウントを記入します。

Windows のサインインのときや、「Office」をインストールするときにも必要です。

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

7 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができます。
「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか1つを必ず入力してください。



■電話番号を追加する場合

- ① 電話番号を入力します。固定電話と携帯電話（スマートフォンを含む）、どちらの番号も使用できます。
本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できる電話番号を入力してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

■メールアドレスを追加する場合

「代わりに連絡用メールアドレスを追加」をクリックします。
メールアドレスの入力画面が表示されたら、メールアドレスをセキュリティ情報に追加します。



- ① 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できるメールアドレスを入力してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

8 「最も関連の高いものを表示」が表示されたら、「次へ」をクリックします。



9 「現在の Windows パスワード」は空欄のまま、「次へ」をクリックします。

「Windows をセットアップする」の手順 12 (→ P.40) でローカルアカウントを取得したときにパスワードを設定した場合はパスワードを入力します。



ローカルアカウント取得時にパスワードを設定していない場合は空欄で「次へ」をクリックします。パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

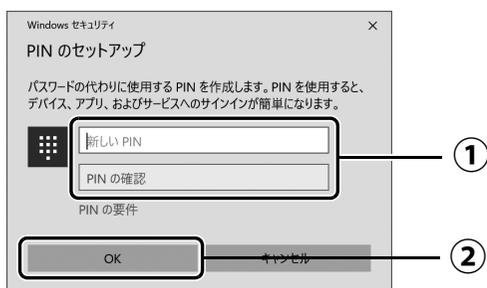
10 「パスワードの代わりに Windows Hello を使用します」が表示されたら、「次へ」をクリックします。



PIN は、このパソコンでのみ Microsoft アカウントのパスワードの代わりに使えます。
※ 代わりに使えない場合もあります。

「PIN が長いパスワードより安全なのはなぜですか?」をクリックすると説明がご覧になれます。

- 11** ① 4桁以上の数字を上段に入力し、下段にも同じ数字を確認入力し、
② 「OK」をクリックします。



設定した PIN は
絶対に忘れないようにしてください。

Point

- ▶ PIN はアカウントの切り替え後に設定や変更ができます。 ▶ (設定) ▶ 「アカウント」 ▶ 「サインインオプション」の順にクリックし、右側に表示された「PIN」から設定してください。

- 12** 「アカウント」の「ユーザーの情報」画面に戻ったら、作成した Microsoft アカウントが表示されていることを確認します。



ローカルアカウントが表示されていたら、いったん X をクリックしてウィンドウを閉じてください。その後、画面左下の ▶ (設定) ▶ 「アカウント」の順にクリックして再度表示してください。

本人確認が必要な場合に
表示されます。

Point

- ▶ 他のパソコンやタブレットで取得済みの Microsoft アカウントに切り替えた後など、このパソコンを快適にお使いになるために、本人確認を行う必要がある場合があります。「確認する」をクリックし、その後は画面の指示に従って操作してください。

- 13** 画面左下の ▶ (電源) ▶ 「シャットダウン」の順にクリックします。
ここで、いったんシャットダウンしてください。

この後は、「はじめに行う設定」で初期設定する (→ P.53) に進んでください。

「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」から、パソコンを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

1 電源ボタン（）をポチッと押します。

2 ロック画面が表示されたら、**[Enter]** を押します。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

（ロック画面）

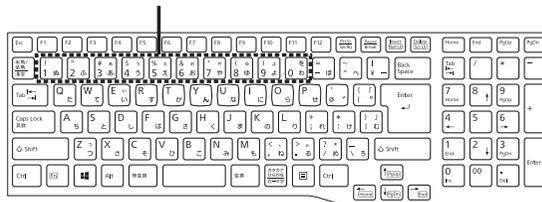
3 PIN を入力します。

「Microsoft アカウント切り替え方法」の手順 11（→ P.52）で設定した PIN です。

重要

- ▶ テンキー搭載モデルをお使いの方へ
パソコンの電源を入れた直後は毎回、Windowsのサインインにはテンキーで数字が入力できません。キーボード上部の数字キーで入力してください。

数字はここで入力してください



（イラストは機種により異なります）

Point

- ▶ PIN の設定をしていない場合は「Microsoft アカウント切り替え方法」の手順 6（→ P.49）で記入したパスワードを入力し、 をクリックします。

4 10 秒程度待ちます。

デスクトップに「はじめに行う設定」ウィンドウが自動で表示されます。

5 「ようこそ！」画面で、「次へ進む」をクリックします。



Point

- ▶ 「はじめに行う設定」の **X** をクリックし、「終了」をクリックした場合は、未確認のページがあるため、パソコンを再起動したときに、「はじめに行う設定」が自動起動されます。
- ▶ 「はじめに行う設定」は次のように起動することもできます。
 ▶ 「FUJITSU - はじめに行う設定」▶ 「はじめに行う設定」の順にクリックします。「はじめに行う設定」は下の方に隠れているのでスクロールして表示してください。

6 「ご確認ください重要なお知らせ」画面が表示されたら、「重要なお知らせを開く」をクリックします。



「重要なお知らせ」という画面が表示されますので、よくお読みください。

Point

- ▶ 「重要なお知らせ」を再表示したい場合は、「はじめて行う設定」を再起動してください。

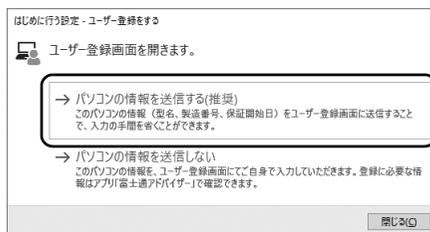
7 「パソコンのユーザー登録」画面が表示されたら、次のように操作し、富士通パソコンユーザー登録を行います。

ユーザー登録済の方は製品情報の追加登録を行います。



富士通パソコンユーザー登録を行い、ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくと1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます（入会費・年会費無料）。

1. 「パソコンのユーザー登録を開く」をクリックします。
2. 「はじめに行う設定 - ユーザー登録をする」ウィンドウが表示されたら、「パソコンの情報を送信する（推奨）」をクリックします。
3. 「Microsoft Edge」が起動したら、画面の指示に従って富士通パソコンユーザー登録または製品情報の追加登録を行います。



Point

- ▶ メールアドレスを入力する画面が表示された場合は、Windows のセットアップ中の「富士通サービス&サポートのご利用登録」（→P.41）でご登録いただいたメールアドレスを入力してください。

発行されたユーザー登録番号と My Cloud ID として設定したメールアドレスを、記入しましょう。

- ユーザー登録番号はお問い合わせや修理依頼のときに必要です。

ユーザー登録番号	
メールアドレス (My Cloud ID)	@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

8 「Officeをセットアップ」画面が表示された場合は、「セットアップの手順を開く」をクリックします。



「Office」のセットアップ方法を説明するページが表示されます。よく読んで必要に応じてセットアップをしてください。

Office のセットアップで困ったときは

「日本マイクロソフト株式会社 Answer Desk (アンサーデスク)」にお問い合わせください。

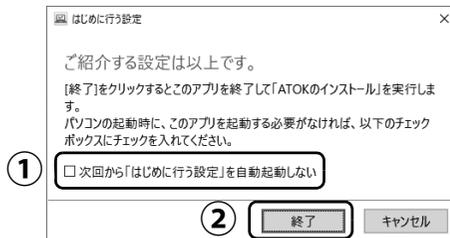
電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金／9:00～18:00、土・日／10:00～18:00
(祝祭日、指定休業日を除く)

9 「ATOKをインストール」画面が表示されたら、「ATOKのインストールを実行」をクリックします。



10 「はじめて行う設定」を終了します。

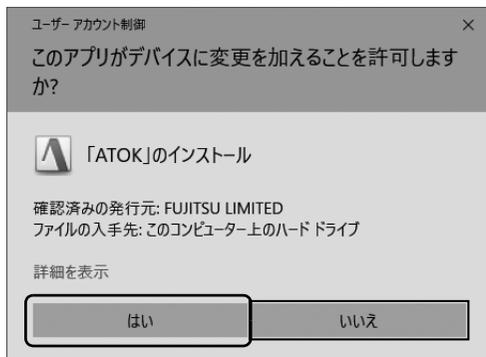


① 「次回から「はじめて行う設定」を自動起動しない」をクリックし、 にします。

パソコンを再起動したときに、「はじめて行う設定」が表示されなくなります。

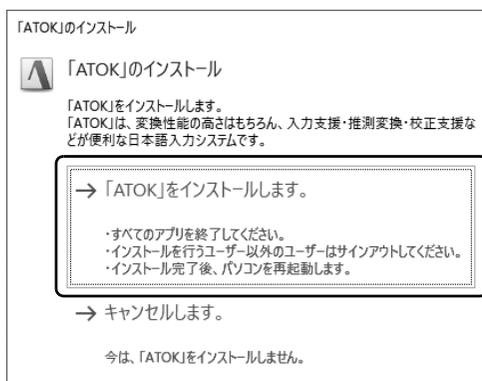
② 「終了」をクリックします。

11 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。



12 「「ATOK」をインストールします。」をクリックします。

「ATOK」のインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



13 「「ATOK」のインストールを完了するには、パソコンを再起動する必要があります。」と表示されたら、「はい」をクリックします。

再起動後に「ATOK」が使えるようになります。

これでセットアップは完了です。

この後の使い方

このパソコンの機能を充分活用するために、セットアップ後にやっておくとよいことをご紹介します。

『取扱説明書<活用ガイド>』を読む

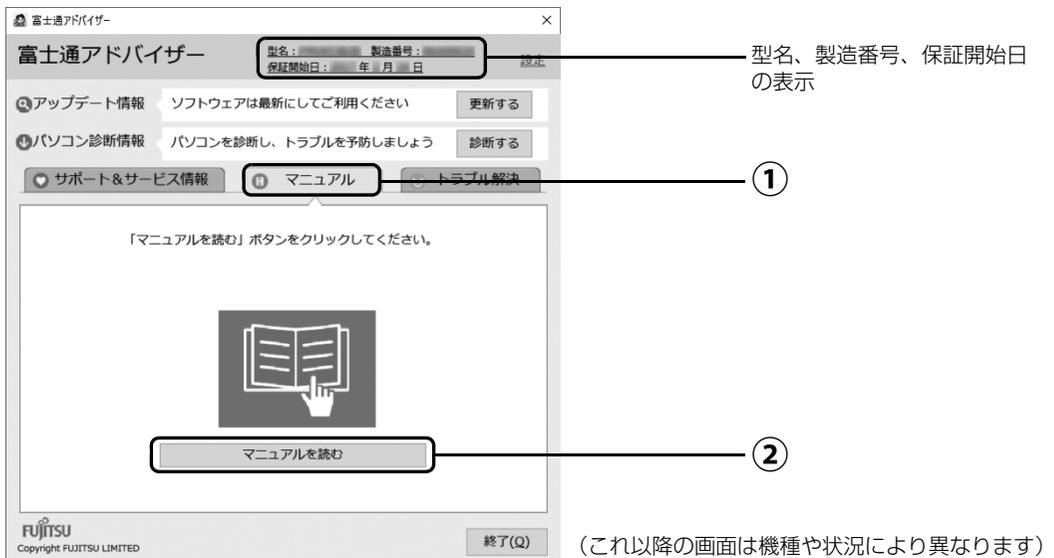
📖『取扱説明書<活用ガイド>』にはこのパソコンに搭載されている機能やアプリを使いこなすための情報が掲載されています。必要に応じてお読みください。

■ 富士通アドバイザーを使って 📖『取扱説明書<活用ガイド>』を読む

1 ▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にクリックします。

2 ①「マニュアル」タブをクリックし、②「マニュアルを読む」をクリックします。

📖『取扱説明書<活用ガイド>』が表示されます。



Point

- ▶ 「このファイルを開く方法を選んでください」と表示された場合は、「Microsoft Edge」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックしてください。
- ▶ セットアップ直後はネットの状況やタイミングによってダウンロードに時間が掛かることがあります。お急ぎの場合は「型名、製造番号、保証開始日の表示」をクリックし、このパソコンの「機種別サポート情報・ダウンロード」ページを表示し、📖『取扱説明書<活用ガイド>』をダウンロードしてください。

■『取扱説明書<活用ガイド>』の内容

●各部の名称と働き

本製品の各部分の名称と働きについて説明しています。

●取り扱い

本製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。主な掲載内容は次のとおりです。

- ・ Windows のスタート/終了方法
- ・ マウス、光学ドライブ、メモリーカードなど各部の取り扱い方法（搭載機種のみ）
- ・ 音量や画面の明るさの調節、電源オフ USB 充電機能の使い方（搭載機種のみ）
- ・ お手入れの方法

●使いこなすために

本製品ならではの機能のご紹介や、本製品を使いこなすための細かい設定方法などを説明しています。

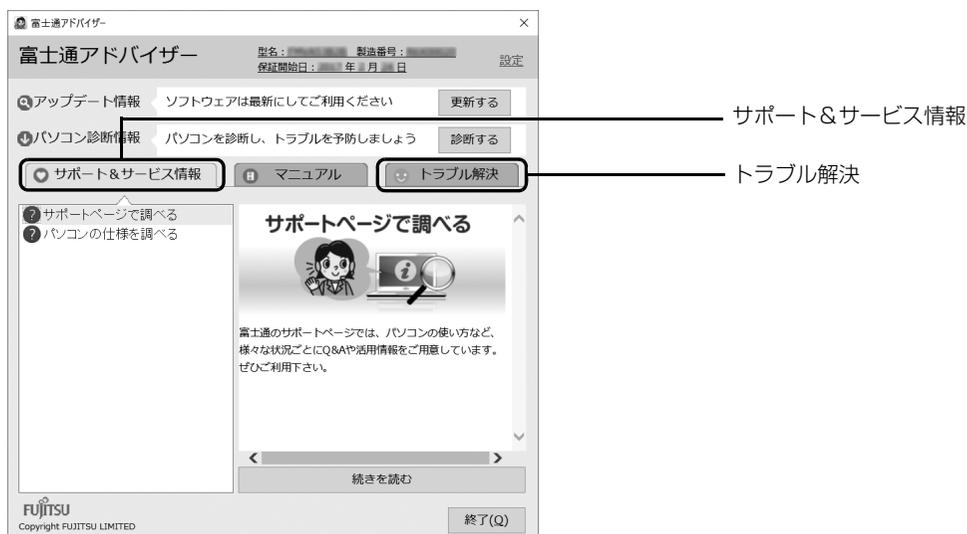
- ・ スリープや節電方法
- ・ ディスプレイ、サウンド、通信の設定
- ・ BIOS の設定
- ・ Windows Hello の設定（赤外線カメラ搭載機種のみ）

●バックアップ

本製品に搭載されている「バックアップガイド」を使って大切なデータをコピー（バックアップ）する方法を説明しています。

「富士通アドバイザー」を活用する

『取扱説明書<活用ガイド>』を読むだけでなく、パソコンを安心・快適にお使いいただくためのさまざまな情報を入手できます。



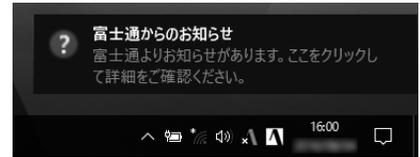
■ サポート&サービス情報

受信したお知らせが左側に一覧表示されます。

- 使いはじめの時期のお役立ち情報
- Windows 10 の基本的な使い方、古いパソコンやタブレットからのデータの移行方法、写真の取り込み方などの、使いはじめの時期に役立つ情報をお知らせします。
- 緊急のお知らせ
Windows やアプリのセキュリティ危機、障害などが発生したときに、対処方法を配信します。

Point

- ▶ 新しくお知らせを受信した場合は、通知領域にメッセージが表示されます。クリックすると、「富士通アドバイザー」が起動して、お知らせの詳細を確認することができます。
 - ・メッセージが消えてしまったときは、▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にクリックして「富士通アドバイザー」を起動してください。



■ トラブル解決

- 「Windows 10 基本操作クイックガイド」をご覧ください。
- Q&A

パソコンでよくあるトラブル（起動・終了時、Windows、アプリ関連など）について解決方法を調べることができます。

■ 「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）のご紹介

「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）をご利用いただくと、万が一、パソコンが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりする場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧ください。

※Android 4.0 以上、iOS7.0 以上を搭載したスマートフォンが必要です。

※「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）の利用設定が必要です。

□ダウンロード手順

1. 富士通アドバイザーアプリのダウンロードページを開きます。
<http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser>



スマートフォンから

2. Google play バナーまたは App Store のバナーをクリックして、アプリをダウンロードします。



回復ドライブを作成する

回復ドライブを作成しておく、Windows が起動しないなど、パソコンに問題が発生したときに、修復できる場合があります。できるだけ早く作成することをお勧めします。

※サポートページでは画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じて Q&A ナンバー「7410-8229」を検索してご覧ください (→ P.72)。

32GB 以上の容量を持つ USB メモリを用意してください

- 回復ドライブは 1 つの USB メモリで作成してください
容量が 32GB に満たない USB メモリを複数用意しても作成できません。Blu-ray Disc や DVD には作成できません。
- 回復ドライブを作成すると USB メモリに作成前に記録していたデータはすべて削除されます
必要なデータはバックアップをとってください。
- 回復ドライブを作成後に、データを追加することはできません
- 回復ドライブにした USB メモリは、他の用途には使えません
- すべての USB 対応機器の動作を保証するものではありません。
- 一部の USB メモリの中には、Windows 10 の回復ドライブの作成に対応していないものがあります。

※ 暗号化機能 (パスワード) 付きの USB メモリの使用について

- 暗号化機能 (パスワード) が搭載されている場合、回復ドライブを作成したときに、USB メモリ内の暗号化ソフトが削除される可能性があります。暗号化機能を再度使用したい場合は、事前に暗号化ソフトを提供元のホームページなどから入手可能かどうかをご確認ください。
- 一部の高性能な USB メモリでは、暗号化機能が削除されないものがあります。起動時に USB メモリの内容を読み込めるかどうかは、USB メモリの提供元にご確認ください。

■ 回復ドライブを作成する上での注意

- 回復ドライブの作成に使用する USB メモリ以外の、USB メモリや外付けハードディスクは、必ず取り外してください
接続したまま操作すると、大切なデータが消去されてしまう可能性があります。
- 管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください
セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。
- 作成した回復ドライブは紛失しないよう大切に保管してください

■ 回復ドライブの作成手順

-  ▶ 「FUJITSU-バックアップガイド」▶ 「バックアップガイド」の順にクリックします。
「FUJITSU-バックアップガイド」が見つからないときは画面を上スクロールしてください。
- 「バックアップガイド」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。
- 「回復ドライブを作成する」欄にある「回復ドライブの作成」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。
- 「回復ドライブの作成」という画面が表示されたら、「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。
- 「USB フラッシュドライブの接続」という画面が表示されたら、パソコンの USB コネクタに 32GB 以上の USB メモリを接続します。
- 「USB フラッシュドライブの選択」という画面が表示されたら、「使用可能なドライブ」欄に USB メモリを接続したドライブが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 「作成」をクリックします。
回復ドライブの作成が完了するまで、しばらく待ちます。
- 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をクリックします。
- ✕ をクリックし「バックアップガイド」を閉じます。

バックアップをとる

パソコンが起動しなくなってしまった場合に備え、定期的にバックアップをとりましょう。
詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「バックアップ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。

■ バックアップガイド

Windows 10 に搭載されたバックアップ機能の設定手順のガイドを表示し、設定ウィンドウを簡単に表示するアプリです。「バックアップガイド」を利用し、各機能を組み合わせて効率的にバックアップをとりましょう。

□「ファイル履歴」 および 「個人ファイルの復元」

日々作成する写真やドキュメントなどのデータを、外付けハードディスクや USB メモリなどにバックアップします。定期的にバックアップすることをお勧めします。

□システムイメージバックアップ

外付けハードディスクなどに、システム全体のバックアップをとります。セットアップ直後や大きな変更を加えたときにとっておけば、その時点の状態に戻すことができます。

『ソフ得』ソフト使い放題

『ソフ得』ソフト使い放題は、100 種類以上、総額 44 万円相当のアプリが、月額 540 円（税込）で使い放題になる大変便利なサービスです。お申し込みいただくとすぐに、使いたいアプリを使いたいときに、いくつでもダウンロードして使用できます。

■ こんなアプリが使えます

- ・ パソコン高速化ソフト「Wise Care 365 Pro」
 - ・ 漢字学習ソフト「らくらく漢字脳 中級」
 - ・ パソコンゲーム「IT 麻雀 2」
 - ・ 写真編集ソフト「かんたん写真編集 3」 など…
- (2017 年 5 月時点取り扱いアプリ)

使用できるすべてのアプリや使い方の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://azby.fmworld.net/bm/st3/>

Point

- ▶ ご利用にあたって必要となる環境などは、次のとおりです。
 - ・ インターネットへの接続
 - ・ My Cloud アカウント『ソフ得』のお申し込み手続きのときに取得することもできます。
 - ・ クレジットカード
- ご利用料金のお支払いはクレジットカードのみとなります。

■ 使い放題ツール

『ソフ得』ソフト使い放題をご利用になるには、「使い放題ツール」が必要になります。「使い放題ツール」では、サービスへのお申し込み、アプリのインストール、インストールしたアプリの管理を行います。

▶「ソフト使い放題 セットアップ」▶「ソフト使い放題 セットアップ」の順にクリックすると「使い放題ツール」のインストールが開始されます。

※ 「使い放題ツール」のインストールは無料です。

動画でこのパソコンの使い方を学ぶ

「動画でわかる FMV・arrows Tab」から、このパソコンのさまざまな使い方を説明した動画をご覧になれます。難しそうな操作も動画で観れば、理解しやすくなります。参考に活用してください。

※ 動画をご覧になるにはインターネットに接続する必要があります。

■ 動画を観るには

1. ▶「動画でわかる FMV・arrows Tab」の順にクリックします。
2. 「動画でわかる FMV・arrows Tab」が表示されたら、観たい動画をクリックします。



(タイトルの表示は機種や状況により異なります)

■ このような動画が観られます

- Windows 10 の基本的な操作方法
- パソコンの設定やデータを保存する手順
- 写真の取り込み方
- 「PowerDirector」の使い方
- Office を始める準備
- 「パソコン乗換ガイド」の手順
- 「PaintShop Pro」の使い方

※ 機種により対象外の動画もあります。

困ったときは

メールや Office で困ったときは

「Outlook」（メールアプリ）や「Word」、「Excel」などの Office の製品については、アプリ提供元の日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

<p>オフィス ホーム ビジネス プレミアム Office Home & Business Premium</p> <p>オフィス パーソナル プレミアム Office Personal Premium</p> <p>オフィス モバイル Office Mobile</p> <p>エクセル ワンノート アウトLOOK 「Excel」、「OneNote」、「Outlook」、 パワーポイント ワード 「PowerPoint」、「Word」、「楽しもう！ Office ライフ」、「楽しもう フォト ウィザード」のお問 い合わせ先もこちらです。</p>	<p>日本マイクロソフト株式会社 Answer Desk（アンサーデスク） 電話：0120-54-2244 受付時間：月～金／9:00～18:00、 土・日／10:00～18:00（祝祭日、指定休業日を除く） URL：http://support.microsoft.com/contactus/</p>
--	---

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ウイルス対策アプリなどで困ったときは

マカフィー リブセーフのお問い合わせ先

マカフィー リブセーフ	マカフィー株式会社 URL : http://www.mcafee.com/japan/home/support/ ①テクニカルサポートセンター インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-060-033 (IP 電話からの場合 : 03-5428-2279) 受付時間 : 9:00 ~ 21:00 (年中無休) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/home/support/tsquery/ ②カスタマーサービスセンター ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-030-088 (IP 電話からの場合 : 03-5428-1792) 受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/home/support/csquery/ マカフィー リブセーフの有効期限まで、サポートいたします。
-------------	--

「マカフィー リブセーフ 3年無償版」をご利用いただけます。

その他のアプリのお問い合わせ先

本製品に搭載されているアプリで、次の「アプリ提供会社がサポートするアプリ」以外は弊社がサポートいたします。
※ 搭載されているアプリはお使いに機種により異なります。

■アプリ提供会社がサポートするアプリ

C	Corel® PaintShop® Pro X8 for Fujitsu	コーレル株式会社 コーレルサポートセンター 電話 : 0570-003-002 (ナビダイヤル) 受付時間 : 10:00 ~ 12:00、13:30 ~ 17:30 (土・日・祝祭日・指定休業日を除く) URL : http://www.corel.jp/support お問い合わせフォーム : https://support.corel.com/hc/ja/requests/new?ticket_form_id=209638
	CurioSound for FUJITSU	株式会社デジオン デジオンカスタマーサポート 受付時間 : 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日・特別休業日を除く) サポート時間内のお問い合わせは当日中に返信いたします。 URL : http://support.digion.com/cs/curiosound/ お問い合わせフォーム : http://support.digion.com/cs/curiosound/contact
	CyberLink SeeQVault Player PowerDirector™ 14 Power Media Player	サイバーリンク株式会社 サイバーリンクカスタマーサポート 電話 : 0570-080-110 (ナビダイヤル)、 03-5205-7670 (PHS・一部のIP 電話から) 受付時間 : 10:00 ~ 13:00、14:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・特別休業日を除く) URL : http://jp.cyberlink.com/support/index.html お問合せ専用 Web フォーム : http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/contact-support.jsp
D	DigiBook® Browser for FUJITSU	株式会社 DigiBook 電話 : 03-6805-9240 FAX : 03-5468-1250 受付時間 : 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) URL : https://secure.digibook.net/contact/ E メール : info@digibook.net

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

I	i-フィルター	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター 電話：0570-00-1334 受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く） URL：http://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/ 試用期間中、サポートいたします。
L	Learn To Speak English 12	LTS 株式会社 ユーザーサポート窓口 Eメール：fujitsu@elanguage.com
か 行	学研パーソナル英和辞典 学研パーソナル和英辞典 学研パーソナル現代国語辞典 学研パーソナル版漢字辞典	株式会社学研教育出版 デジタルコンテンツ事業室 電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→P.74）へお問い合わせください。
	広辞苑第六版	株式会社岩波書店 電子出版編集部 電話：03-5210-4082（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→P.74）へお問い合わせください。
さ 行	新和英中辞典第5版 リーダーズ英和辞典第3版	株式会社研究社 電子出版室 電話：03-3288-7711（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→P.74）へお問い合わせください。
	ソフト使い放題	株式会社オプティム ソフ得 ソフト使い放題サポートセンター 電話：ご契約前のお客様 03-6435-8566 ご契約後のお客様 050-3734-4960 受付時間：10:00～18:00（年中無休） FAQ：http://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited お問い合わせフォーム：http://www.optim.co.jp/contents/12049
は 行	筆ぐるめ24	富士ソフト株式会社 インフォメーションセンター 電話（ナビダイヤル）：0570-550-211 （IP電話/PHSの場合：03-5638-6139） 受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00 （土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く／11月1日から12月30日までは無休（12月30日は12:00まで） URL：http://www.fudegurume.jp/ Eメール：users@fsi.co.jp

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（パソコンや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- パソコンを再起動するとトラブルが解消される場合があります。パソコンの操作が可能なときは、▶（電源）▶「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動してください。

起動・終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	ACアダプタ、または、電源ケーブルが正しく接続されていない	ACアダプタ、または、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください（→P.27）。
	メインスイッチが OFF になっている	DH シリーズ（WD2/B2）の場合、パソコン本体背面のメインスイッチを「I」側に切り替えます。
	上記の対処で解決しない	ACアダプタ、または、電源ケーブルをいったん取り外し、2～3分放置後、再び取り付けてください。
ビープ音（ブザー）が鳴る	連続して誤ったBIOSパスワードを入力した	電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ります。 FHシリーズの場合、10秒以上待ってから電源を入れ直してください。 DHシリーズの場合、電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを挿し直し、電源を入れ直してください。 なお、大文字と小文字で区別されますので、ご注意ください。
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	FHシリーズの場合は、  ▶「FUJITSU-ステータスパネルスイッチ」▶「ステータスパネルスイッチ」の順にクリックし、「画面の明るさ」をクリックします。 FHシリーズ（27型ワイド）の場合は、リモコンの「画面設定」ボタンを押して、画面を明るくすることもできます。 詳しくは  「取扱説明書<活用ガイド>」の「ディスプレイの設定を変更する」をご覧ください。 DHシリーズの場合は、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。画面を明るくしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
画面に何も表示されない(続き)	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	ディスクアクセスランプが消灯していることを確認し、電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。(ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、ハードディスクが壊れる可能性があります。) FHシリーズの場合、10秒以上待ってから電源を入れ直してください。 DHシリーズの場合、電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを挿し直し、電源を入れ直してください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧ください、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください(→P.72)。
電源が切れない	Windowsが正しく動いていない	次の手順でWindowsを終了させてください。 ハードディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押す。 2. [Tab] で画面右下の  を選択して [Enter] を押す。 3. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	マウスが使えない	次の手順で、Windowsを終了させてください。 1. [Esc] を押す。 2. [Tab] を2回押す。 3. カーソルキーで  を選択して [Enter] を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	上記の対処で解決しない	ディスクアクセスランプが消灯していることを確認し、電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。(ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、ハードディスクが壊れる可能性があります。) DHシリーズの場合、そのあと電源プラグを抜きます。なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
勝手に電源が入る	他のワイヤレスキーボードを誤認している	 『取扱説明書<活用ガイド>』の「ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウス」をご覧ください、再認識させてください(『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.60をご覧ください)。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのトラブル

■ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス添付機種

症状	考えられる原因	対処方法
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスが使えない	電池が正しくセットされていない、または電池が切れている。	<p>■ FH シリーズの場合</p> <p>「キーボード／マウスを準備する (FH シリーズ)」をご覧ください。電池を正しくセットしてください(→ P.30)。</p> <p>■ DH シリーズの場合</p> <p>「キーボード／マウスを準備する (DH シリーズ)」の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」をご覧ください。電池を正しくセットしてください(→ P.32)。</p>
	ワイヤレスキーボードまたはワイヤレスマウスの電源が入っていない。	ワイヤレスキーボードの背面またはワイヤレスマウスの底面の電源スイッチを ON にしてください。DH シリーズのワイヤレスキーボードには、電源スイッチがありません。
	正しく認識されていない。	<p>■ FH シリーズの場合</p> <p>ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを同時に再認識させることはできません。それぞれ、次の手順で再認識させてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パソコン本体背面の「CONNECT」ボタンの位置を確認します (→ P.17)。 2. ワイヤレスキーボードの背面またはワイヤレスマウス底面の「CONNECT」ボタンの位置を確認します。 3. パソコン本体の「CONNECT」ボタンを押しながら、ワイヤレスキーボードまたはワイヤレスマウスの「CONNECT」ボタンを押します。 4. すぐにパソコンの前に置きます。 <p>■ DH シリーズの場合</p> <p>次の手順でパソコンに再認識させてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンの電源を切る。 2. キーボードの場合は、 を押しながら、キーボードの電池を入れ直す。 マウスの場合は、マウスの左ボタンと右ボタンを押しながら、マウスの電源を入れ直す。 3. パソコンの電源を入れる。 <p>詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」をご覧ください (『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください)。</p>

他のトラブル解決方法を参照する

次の手順で表示される説明をご覧ください。

- 1 ▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にクリックします。
富士通アドバイザーのご利用について表示された場合は、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。
- 2 「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」タブをクリックします。

インターネットに接続して上記の操作を行うと、表示される内容が最新の状態に更新されます。

インターネット上のサポートページを使う

インターネット上のサポートページにも、多くの Q&A 事例をご用意しております。次のようにご利用ください。

- 1 上記の「他のトラブル解決方法を参照する」の手順に従って「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」の画面を表示し、「困っていることから探す（インターネット）」をクリックします。
サポートページが表示されます。
- 2 サポートページ上部の入力欄に、困っていることに関連するキーワードを入力し、入力欄の横にある「検索」をクリックします。
入力欄に Q&A ナンバーを入力して検索することもできます。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windows が起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイなど）に問題がないか診断します。

- パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
- 診断したいハードウェアを選択できます。
- 診断時間は 5 ～ 20 分程度です（診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります）。
タッチパネル搭載機種の場合、「富士通ハードウェア診断ツール」はキーボードで操作します（タッチ操作できません）。

- 1 BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→P.73）。
- 2 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

- 3 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
DH シリーズの場合、電源プラグを抜き、30 秒以上待ってから電源プラグを挿し直します。

- 4 「起動メニュー」を表示します。
 - ・ FH シリーズの場合
サポートボタンを押します。
 - ・ DH シリーズの場合
 を押しながら、パソコンの電源を入れます。

- 5 起動メニューが表示されたら、 を押して、「診断プログラム」または「Diagnostic Program」を選択し、 を押します。

- 6 「診断プログラムを実行しますか？」または「Do you want to continue?」と表示されたら、 を押してハードウェア診断を開始します。
ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます。

- エラーコードが表示された場合
メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、 を押してパソコンの電源を切ってください。

- 問題がない場合
 を押して、次の手順に進んでください。

- 7 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」の画面が表示されます。

- 8 「診断」タブをクリックします。

- 9 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をクリックします。
ハードウェア診断が始まります。

Point

- ▶ 「CD/DVD/BD ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください。」などと表示された場合は、お手持ちの CD や DVD を光学ドライブにセットして「診断開始」をクリックしてください。
ただし、データが書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア（映画などの DVD、およびコピーコントロール CD など）は使用できません。
- ▶ 診断を取りやめる場合は「キャンセル」をクリックしてください。

10 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

■問題がない場合

手順 13 まで行った後、「パソコンを以前の状態に戻す」(→ P.73)に進んでください。

11 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面に戻ります。

12 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

13 「はい」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

□BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。DHシリーズの場合、電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを挿し直します。

3 「起動メニュー」を表示します。

・FHシリーズの場合

サポートボタンを押します。

・DHシリーズの場合

 を押しながら、パソコンの電源を入れます。

4 起動メニューが表示されたら、 を押し、「BIOS セットアップ」を選択して、 を押します。

BIOS の画面が表示されます。

 Point

▶ Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。

▶ BIOSの画面が表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ります。DHシリーズの場合、さらに電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを差し直します。10秒以上待った後、手順3から操作をやり直してください。

5 、、、または  で「終了」または「Exit」メニュー▶「標準設定値を読み込む」または「Load Setup Defaults」の順に選んで  を押します。

6 「はい」または「Yes」を選んで  を押します。

7 「変更を保存して終了する」または「Exit Saving Changes」を選んで  を押します。

8 「はい」または「Yes」を選んで  を押します。

BIOSセットアップについて詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』の「BIOS の設定」をご覧ください(『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください)。

パソコンを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットの Q&A でも解決できなかった場合は、パソコンが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したデータや設定が削除されてしまう場合があり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、次の説明の参照先に記載された注意事項を必ず確認したうえで行ってください。

このパソコンでは2つの方法でパソコンを以前の状態に戻すことができます。

●「システムイメージバックアップ」から復元する
「システムイメージバックアップ」を作成している場合、作成した時点に戻すことができます。バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。

詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』の「バックアップ」をご覧ください(『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください)。

●この PC を初期状態に戻す
「システムイメージバックアップ」を作成していない場合は、Windows 10 の機能「この PC を初期状態に戻す」を使い、パソコンをご購入時に近い状態に戻すことができます。

ご購入時に近い状態に戻すため、現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、設定を復元したりなど大変手間がかかる場合があります。

詳しくは、「パソコンの状態を回復する」(→ P.78)をご覧ください。

富士通の窓口にご相談する

「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.69) で解決しなかった場合は富士通の窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご紹介

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせたさまざまな方法でお問い合わせができます。
技術相談も、修理相談もワンストップで解決！ 便利に簡単にご利用できる窓口です。
富士通FMVサポートページ <http://azby.fmworld.net/support/> ※最新の情報はホームページをご覧ください。



“メール”で相談する

メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、メールで回答いたします。
Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。

- 1 Q&Aで調べる
- 2 質問フォームに入力する
- 3 メールで回答

各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。

Q&Aで問題が解決しないときは、下記の方法もお試ください。



*ユーザー登録が必要となります。

パソコン スマートフォン



“Twitter”でアドバイスを受ける

Twitter

TwitterのFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。
お役立ちQ&Aをご紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも！（「富士通」「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう）

FMV公式アカウント：@Fujitsu_FMV_QA

- *お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
- *お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
- *お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
- *Twitterの特性を最大限に生かすため、お客様とのやりとりはみなさまに見える状態でツイートいたします。

パソコン スマートフォン



“インターネットで故障を診断”する

ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

トラブル診断



もっと詳しく知りたい！



上のボタンを押すと診断が始まります。

* 方が一故障と診断された場合は復旧料金が確認できます。

パソコン スマートフォン

電話予約

電話



“電話”で相談する

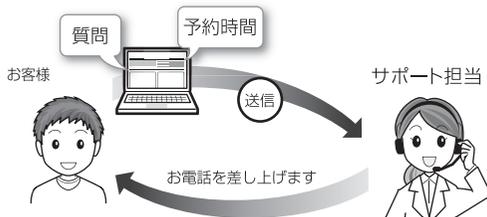
*ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

電話相談の“予約”をする

パソコン スマートフォン

お客様がホームページよりご予約された時間帯に、サポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

<https://azby.fmworld.net/callback/>



- *ユーザー登録が必要となります。
- *富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。また日本語対応のみとなります。

使い方、技術相談、修理相談、すべてこちら

通話料無料 **0120-950-222** 受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら **045-514-2255**
(通話料金お客様負担) 受付時間：9:00～17:00

注：受付時間は窓口によって異なります。ガイドンスに従ってご利用ください。

- *電話番号はお間違えないように、十分ご確認ください。
- *システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
- *音声ガイドンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
- *ユーザー登録されている電話番号とおお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイドンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

■ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

- ・パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1年間無料**でご利用いただけます。[注]

注： Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,060円（税込）となります。

また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9時～17時となります。

- ・2年目以降

お問い合わせ1件あたり2,060円（税込）

※ My CloudカードまたはAzbyClubカードでお支払いの場合は、1,540円/件（税込）でご利用いただけます。My CloudカードおよびAzbyClubカードについて詳しくは、(<http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>) をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。

Point

- ▶ 保証開始日は「富士通アドバイザー」(→ P.61) から確認できます。画面右上に表示されます。
- ▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。(ただし14日以内に限り)

●お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジット カード支払い	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途210円かかります。

■お問い合わせ前に確認してください

- 「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>) で解決方法を確認しましたか？

知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。

- ユーザー登録はしましたか？

電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法は「[はじめに行う設定]で初期設定する」(→ P.53) の手順7をご覧ください。

- アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？

各アプリ提供会社のお問い合わせ先は、「メールやOfficeで困ったときは」(→ P.66) および「ウイルス対策アプリなどで困ったときは」(→ P.67) をご覧ください。

- お使いのパソコンをお手元にご用意いただけますか？

お電話中に操作を行っていただく場合がありますので、お手元にご用意ください。

- データのバックアップはしましたか？

大切なデータの予備を保存しておく、安心です。バックアップ方法については、『取扱説明書 <活用ガイド>』の「バックアップ」をご覧ください。『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください。

修理を申し込む前の準備

- 故障かどうかをもう一度ご確認ください

パソコンのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に故障に関する電話でのお問い合わせの半数以上は、パソコンの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。「ネットで故障診断」(<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>) で、本当にパソコンが故障しているか確認してください。

- 修理規定をご確認ください

お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.93) を確認のうえ、同意をお願いします。

- 修理料金の目安を確認できます

ホームページで概算修理料金をご覧ください。<http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>

- 保証書をお手元にご用意ください

保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日（保証開始日）から1年間となります(→ P.75)。保証期間内は無料で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

●故障品をお手元にご用意ください

お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。

●データのバックアップをおとりください

修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置（ハードディスクなど）内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

バックアップの方法については、『取扱説明書<活用ガイド>』の「バックアップ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。

また、パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」（有料）もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス(有料)

<http://azby.fmworld.net/datarescue/>

修理の申し込み

パソコンの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

- ホームページで申し込む（ネットで故障診断）
「ネットで故障診断」では、パソコンが故障しているかどうかを調べることができます。
故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

■電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.74）の「使い方、技術相談、修理相談、すべてこちら」をご覧ください。

重要

- ▶ 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- ▶ 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→ P.93）の第 13 条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。

お引き取りとお届け (パソコン修理便)

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンをお引き取りに伺います。

お引き取りから修理・お届けまで約7日間です(土・日・祝日を含む)。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

■お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯(9:00～21:00[注])で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

■お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

▶ 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。

- ・ BIOS パスワード
- ・ ハードディスクパスワード

●保証書を用意してください(保証期間中の場合)。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。

●宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。

●お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

●「修理状況確認サービス」

(<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>)で携帯電話やスマートフォン、パソコンのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

■お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

- ・保証期間内(保証開始日より1年間)：無料(保証書記載の「無料修理規定」による)(→P.75)
- ・保証期間外：有料(修理にかかる部品代、技術料等)

※交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

■修理状況確認サービス

パソコン、スマートフォン、携帯電話(iモード、Ezweb、Yahoo!ケータイ)で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」(8桁の番号)を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話から

<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>

バーコード読み取り機能付きのスマートフォンや携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。



電話の音声ガイダンスでも確認できます

0120-215-265

☎ 通話料無料 / 受付時間：24時間365日

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」(8桁の番号)と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

※携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種メーカーにお問い合わせください。

※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

その他の修理サービスのご案内

その他の修理サービス一覧

<http://azby.fmworld.net/support/repair/>

次のような修理サービスもご用意しています。詳細はホームページでご確認ください。

※保証期間内であっても別途料金が必要になります。

●訪問修理サービス(有料)

弊社指定の修理サービス会社にご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。

●PC引取点検サービス(有料)

パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・ソフトウェアの点検や、パソコン内部の清掃を行う有料サービスです。

パソコンの状態を回復する

パソコンの状態を回復するとは

Windows 10には、トラブルに備え、パソコンを以前の状態に戻す機能が搭載されています。

ここでは、パソコンをご購入時に近い状態に回復する方法について説明します。

このPCを初期状態に戻す機能

このPCを初期状態に戻す機能を使うと、ご購入時に近い状態に回復することができます。ご購入時に近い状態に戻るため、削除されるデータもあります。そのため「よくあるトラブルと解決方法」(→P.69)と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧ください。すべて対処しても解決しなかった場合のみ行ってください。

重要

- ▶ 回復のためのデータは、パソコン内に保存されていますが、そのデータが破損したときは、「回復ドライブ」から回復します。「回復ドライブを作成する」(→P.63)をご覧ください。
- ▶ 回復ドライブを作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリUSBメモリを購入してリカバリしてください(→P.82)。

■パソコンの状態を回復する方法の種類

回復方法には次の種類があります。

ご購入時に近い状態に回復するときは「すべて削除する」を行ってください。

●すべて削除する

- ・ファイルの削除のみ行う

ほぼご購入時の状態に戻ります。アカウントも削除されるので、セットアップをやり直す必要があります。

- ・ドライブを完全にクリーンアップする

消去されるものは「すべて削除する(ファイルの削除のみ行う)」と同じですが、簡単に回復できないように完全に削除されます。そのため操作に数時間^注かかります。他人にパソコンを譲渡するなど完全にデータを削除したいときにお使いください。

注：HDD/SSDの容量が大きいほど長くなります。3TBの場合は8時間以上かかることもあります。

Point

- ▶ パソコンから「このPCを初期状態に戻す」を行った場合、Windowsはロールアップが適用された状態に戻ります。ドライバーは最新のロールアップ適用前に戻ります。ロールアップとは、修正プログラム、セキュリティ修正プログラム、重要な更新およびアップデートを配布しやすいように1つにまとめた累積的なパッケージです。
- ▶ 回復ドライブから回復した場合は、Windowsとドライバーはほぼ回復ドライブ作成時点の状態に戻ります。
- ▶ このパソコンを購入したときにインストールされていたアプリはインストールされた状態に戻ります。

●個人用ファイルを保持する

Windowsが起動するときのみ行います。

Windows、ドライバー、アプリの状態は「すべて削除する」を行ったときと同じ状態に回復します。それに加えて、次のデータも回復します。

- ・クイックアクセスに登録されたフォルダーなどのユーザーの個人用ファイル
- 個人用ファイルは「C:\%Users」配下のデータです。

ただし、次のパスの配下のデータは消去されます。この配下にはアプリに固有のアプリ設定、ファイル、データが含まれます。

C:\%Users%\[ユーザー名]\%AppData

- ・「ごみ箱」内のデータ
- ・ユーザーアカウント
- ・インターネットや無線LANなどのネットワーク接続設定
- ・「設定」ウィンドウの設定

消去されないデータについても念のためバックアップをとったり、メモしたりすることをお勧めします。

この PC を初期状態に戻す準備

この PC を初期状態に戻すうえでの注意

■バックアップをとってください

この PC を初期状態に戻すと、消去されるデータがあります(→ P.78)。必要なデータはバックアップしてください。

Windows 10 には、個人用ファイルをバックアップする機能が搭載されています。詳しくは『取扱説明書<活用ガイド>』(→ P.60)の「バックアップ」をご覧ください。

■外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください

接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■分離型パソコンのディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器(プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 入力/出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器)は取り外してください

アンテナケーブルや LAN ケーブルなど接続できる機種をお使いの場合はすべて抜いてください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■メモリーカードは取り出してください(ダイレクト・メモリースロット搭載機種のみ)

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまいます。

■この PC を初期状態に戻しているときには他の操作をしないでください

むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

途中で中断したり、パソコンの電源を切ったりすることはできません。消去されたアプリなどを再インストールしたり、バックアップしたデータを復元したりするとさらに時間がかかります。時間に余裕をもって、じっくりと作業することをお勧めします。

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押してください。または、キーボードの     や **(Shift)** を押してください。それでも復帰(レジューム)しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。

■電源が切れない

電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

DH シリーズの場合は、その後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■エラーメッセージが表示された

次のようなメッセージが表示された場合は、キーボードの **(F12)** を押してください。

日本語の場合

OS またはアプリケーションから TPM をクリアする要求が発行されました。

注意：TPM がクリアされ、暗号化されたデータにアクセスできなくなります。

<F12> キーを押すと実行します。
<Esc> キーを押すと変更しません。

英語の場合

TPM configuration change was requested to
State: Clear

WARNING!!!
Clearing erases information stored on the TPM. You will lose all created keys and access to data encrypted by these keys.

Press F12 to execute
Press Esc to reject this change request and continue
Do you accept the change?

この PC を初期状態に戻す

「この PC を初期状態に戻す準備」(→ P.79) をよくお読みになり、必要なバックアップなど準備を済ませてから実行してください。

パソコンの状態によって、回復方法が異なります。

●Windows が起動できる場合、および Windows が起動しないが「オプションの選択」画面が表示できた場合

パソコンのみで回復できます。「このパソコンに保存されたデータを使う」(→ P.80) をご覧ください。

●Windows が起動しない場合

回復ドライブを使って、回復します。「回復ドライブを使う」(→ P.81) をご覧ください。

Point

- ▶ Windows が起動できる場合も、回復ドライブを使って回復できます。このパソコンに保存されたデータを使い初期状態に戻すときに問題があれば、回復ドライブをお使いください。

このパソコンに保存されたデータを使う

Point

- ▶ FH シリーズでは、パソコンの電源が切れた状態から「オプションの選択」画面を表示できます。

1. パソコンの電源が切れた状態で「サポート」ボタンを押します。
2.  を押し、「Windows回復環境」を選択して **[Enter]** を押します。
3. 「オプションの選択」画面が表示されたら、手順4から操作してください。

- ▶ Windowsが起動しないとき、画面のメッセージに従って操作すると、「オプションの選択」画面を表示できる場合があります。その場合は手順4から操作してください。

・「自動修復」画面が表示された場合
Windows が起動しないとき、しばらく待っていると「自動修復」画面が表示されることがあります。「再起動」をクリックしても Windows が正常に起動せず、また「自動修復」画面が表示された場合、「詳

細オプション」をクリックしてください。「オプションの選択」画面が表示されます。

自動修復

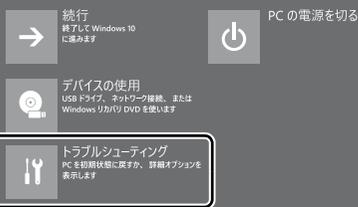
PC が正常に起動しませんでした
[再起動] を押して PC を再起動すると、問題を解決できる場合があります。また、「詳細オプション」を押して、その他の方法で PC の修復を試すこともできます。

(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 1   (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にクリックします。
- 2 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「回復」をクリックします。
- 3 ウィンドウ右の「今すぐ再起動する」をクリックします。
- 4 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をクリックします。

オプションの選択



- 5 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「この PC を初期状態に戻す」をクリックします。

トラブルシューティング



- 6 「すべて削除する」をクリックします。

Point

- ▶ 個人用ファイルを保持する場合は「個人用ファイルを保存する」をクリックします。その後の操作は「個人用ファイルを保持する場合は」(→ P.81) をご覧ください。

7 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。

データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「パソコンの状態を回復する方法の種類」(→ P.78)をご確認ください。

8 「準備が完了しました。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。

9 PC 設定の説明画面 (DH シリーズでは地域を選択する画面) が表示されたら、「セットアップする」(→ P.21) をご覧になり、セットアップします。

「Windows 回復後にセットアップするときの注意」(→ P.82) もあわせてご覧ください。

■個人用ファイルを保持する場合は

「このパソコンに保存されたデータを使う」の手順 6 (→ P.80) で「個人用ファイルを保存する」をクリックした後の手順です。

1 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示されたら、お使いのアカウントをクリックします。

Point

▶ 姓名を設定していないアカウントをお使いの場合、以前取得したローカルアカウント名などが表示されることがあります。表示されたアカウント名を選択してください。

2 「このアカウントのパスワードを入力してください。」と表示されたら、パスワードを入力し、「続行」をクリックします。

3 「準備が完了しました。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。Microsoft アカウントのパスワードまたは PIN 入力を求められた場合は入力してください。デスクトップが表示されたら、初期化は完了です。

・デスクトップアプリが消去された場合、デスクトップに「削除されたアプリ.html」が作成されます。消去されたデスクトップアプリ一覧が確認できます。

回復ドライブを使う

1 電源が切れた状態で、回復ドライブを作成した USB メモリをパソコン本体の USB コネクタに接続します。

2 起動メニューを表示します。

起動メニューは、機種や状況によって Boot Menu と表示される場合もあります。

■サポートボタン搭載機種

サポートボタンを押します。

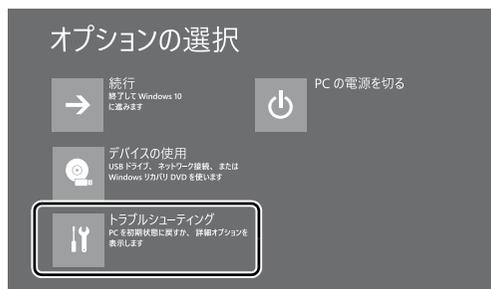
■サポートボタン非搭載機種

[F12] を押しながら、パソコンの電源を入れ、音が鳴ったら、**[F12]** から指を離します。音が鳴らなくても、起動メニューが表示された場合は、**[F12]** から指を離します。

3 **[↓]** を押し、接続した USB メモリを選択し、**[Enter]** を押します。

4 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリックします。

5 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をクリックします。



6 「トラブルシューティング」画面が表示されたら「ドライブから回復する」をクリックします。



7 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。

データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「パソコンの状態を回復する方法の種類」(→ P.78)をご確認ください。

8 「準備が完了しました。」と表示されたら、「回復」をクリックします。

初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。

9 PC 設定の説明画面 (DH シリーズでは地域を選択する画面) が表示されたら、「セットアップする」(→ P.21) をご覧になり、セットアップします。

「Windows 回復後にセットアップするときの注意」(→ P.82) もあわせてご覧ください。

■ Windows 回復後にセットアップするときの注意

- Microsoft アカウントを新規に取得する必要はありません。「自分用にセットアップする」画面が表示されたら、入力欄にお持ちの Microsoft アカウントとそのパスワードを入力してください。
- 富士通パソコンユーザー登録も再度行う必要はありません。「富士通サービス&サポートのご利用登録」画面でメールアドレスの入力も必要ありません。

リカバリ USB メモリを購入してリカバリする

Windows が起動しない場合、回復ドライブを作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリから起動してご購入時の状態に戻すリカバリを行うと回復できることがあります。

- リカバリ USB メモリを購入してリカバリすると、パソコンはご購入時の状態とまったく同じ状態に戻すことができます。そのため、セットアップが必要になります。
- リカバリ USB メモリは、弊社のホームページから購入できます。
「リカバリメディア有償サービス」
<http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>

Point

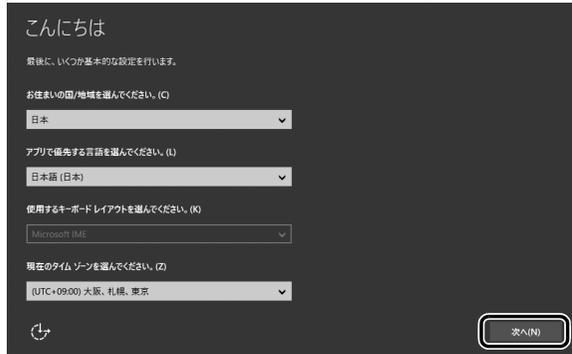
- ▶ リカバリ方法は、リカバリ USB メモリに同梱されたマニュアルをご覧ください。

こんなときは

「こんにちは」画面が表示されたときは

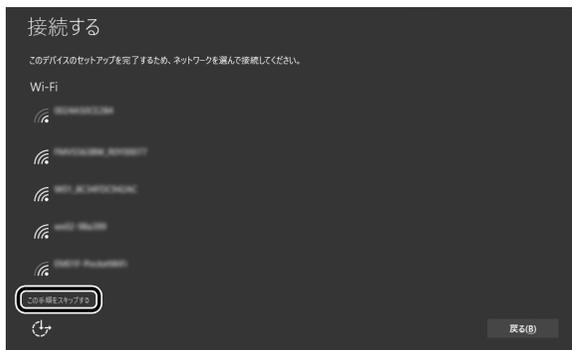
ここでは、「こんにちは」画面が表示された場合の Windows のセットアップ手順を説明します。

- 1 「こんにちは」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



Point

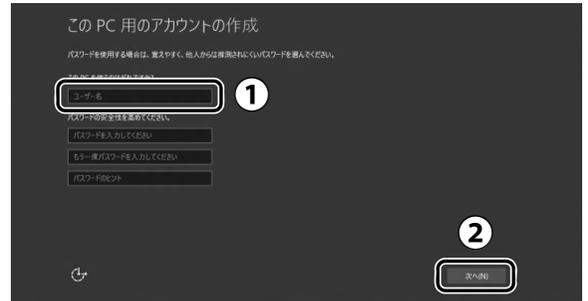
- ▶ FH シリーズの場合、マウスで「次へ」をクリックできない場合は、マウス底面の電源スイッチを OFF 側にして電源を切り、電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、「よくあるトラブルと解決法」の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのトラブル」(→ P.71) をご覧ください。
- 2 「法的文書をお読みください」画面が表示されたら、ライセンス条項をよく読みます。読み終わったら「承諾する」をクリックします。
 - 3 「この手順をスキップする」をクリックします。



重要

- ▶ インターネットに接続せず Windows のセットアップをするために、「この手順をスキップする」をクリックしてください。インターネットに接続して Windows のセットアップを行うと、非常に時間がかかり 1 時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。

- 4 「すぐに使い始めることができます」画面が表示されたら、「簡単設定を使う」をクリックします。
- 5 「この PC 用のアカウントの作成」画面が表示されたら、ローカルアカウントを作成します。



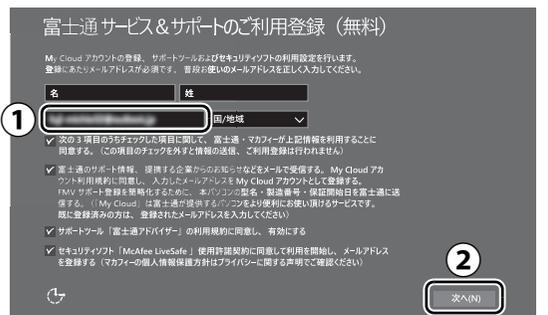
- ① 「ユーザー名」を入力します。
12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きな名前を入力してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

重要

- ▶ 次の文字や文字列はユーザー名に使えませんので、入力しないでください。
 - ・ @、%、/、- などの記号や空白 (スペース)
 - ・ CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM1 ~ COM9、LPT1 ~ LPT9 の文字列
 - ・ ひらがな、カタカナ、漢字など

Point

- ▶ インターネットに接続後、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えるため、ここではパスワード入力はありません。
 - ▶ FH シリーズの場合、キーボードで文字入力できない場合は、キーボードの電源スイッチを OFF 側にして電源を切り、電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、「よくあるトラブルと解決法」の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのトラブル」(→ P.71) をご覧ください。
- 6 Cortana の説明画面が表示されたら、「Cortana を使う」をクリックします。
 - 7 「富士通サービス&サポートのご利用登録」の説明をよく読んで、ご利用登録をします。



- ① My Cloud アカウント (マイ クラウド アカウント) の ID として登録するメールアドレスを入力します。ここで入力したメールアドレスは、「マカフィーリブセーフ」のメールアドレス登録にも使用されます。
※「マカフィーリブセーフ」のユーザー登録については「テクニカルサポートセンター」(→ P.67) にお問い合わせください。
- ② 「次へ」をクリックします。

ここで入力するメールアドレスについて

● My Cloud アカウントをお持ちでない場合

My Cloud アカウントを取得すると富士通パソコンを快適にお使いいただけます。

My Cloud アカウントの ID として登録するメールアドレスを入力します。パスワードのご連絡など重要な通知を行うため、通常よく使うメールアドレスを入力してください。

● My Cloud アカウントをお持ちの場合

登録済みのメールアドレスを入力していただければ、このパソコンの機種追加登録が簡単にできるようになります。

● メールアドレスをお持ちでない場合

何も入力しないで進めてください。メールアドレスを取得後、「富士通パソコンユーザー登録」をするときに My Cloud アカウントを取得できます。

※ メールアドレスを入力した場合は、富士通パソコンユーザー登録をするときに使用するため、「「はじめに行う設定」で初期設定する」の手順 7 (→ P.56) の記入欄に書きとめておくことをお勧めします。

Point

- ▶ 「名」「姓」は何も入力する必要はありません。
- ▶ 「国 / 地域」は選択する必要はありません。
- ▶ 「パソコンの状態を回復する」(→ P.78) を行った後などの再セットアップのとき、このパソコンが製品登録済みの場合は、①にメールアドレスの入力は必要はありません。

8 デスクトップが表示されるまで待ちます。

画面が何回か変化し、デスクトップが表示されたら、Windows のセットアップは完了です。

➡ この後は、「インターネットに接続する」(→ P.43) に進んでください。

インターネットを安心してお使いいただくには

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやり取りをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。

特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ・アダルトサイト (ポルノ画像や風俗情報)
- ・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ・出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ・暴力残虐画像を集めたサイト
- ・毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開をやめさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開をやめさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ・パソコンにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする
 - ・インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する
- これらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルター」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

【参考情報】

- ・社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
- ・デジタルアーツ株式会社 (i-フィルター提供会社)「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

■「i - フィルター」について

このパソコンには、フィルタリング機能をもつ「i - フィルター」が用意されています。使い方については、📖『取扱説明書<活用ガイド>』の「i - フィルター」をご覧ください（📖『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.60をご覧ください）。

パソコンの電源を完全に切るには

日常的なパソコンの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

重要

- ▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。
 - ・メモリを取り付ける／取り外す（対象機種のみ）
 - ・BIOS セットアップを起動する
- 上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要のある場合があります。
- 詳しくは、📖『取扱説明書<活用ガイド>』の「Windows を終了する」をご覧ください（📖『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。

- 1   (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にクリックします。
- 2 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「回復」をクリックします。
- 3 ウィンドウ右の「今すぐ再起動する」をクリックします。
- 4 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

起動メニューの表示のしかた

回復ドライブやリカバリ USB メモリから起動する場合などに、起動メニューを表示します。

パソコンの電源が切れた状態から操作を開始します。

起動メニューは、機種や状況によって Boot Menu と表示される場合もあります。

■サポートボタン搭載機種

サポートボタンを押します。

■サポートボタン非搭載機種

 を押しながら、パソコンの電源を入れ、音が鳴ったら、 から指を離します。

音が鳴らなくても、起動メニューが表示された場合は、 から指を離します。

Point

- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、画面の指示に従ってパスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、このパソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

富士通パソコンを廃棄・リサイクルするとき

個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込みホームページ	http://azby.fmworld.net/recycle/ ※ スマートフォンからもお申し込みできます。
お問い合わせ電話番号	03-5715-3140（通話料金お客様負担） 受付時間 9:00 ~ 17:00 （土・日・祝日および弊社指定休日を除く）

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです（法人（個人事業主を含む）、企業は除く）。PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。

PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク



- 注1: 装置銘板は機種により異なります。
- 注2: パソコン本体にカバーなどがある機種は、PC リサイクルマークが隠れている場合があります。

重要

- ▶ 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へお申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>) をご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があります。結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、パソコンのハードディスクに記録されたデータは、削除したり、ハードディスクを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができからです。また、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有償）のご利用をお勧めいたします。詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」（<http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>）をご覧ください。

■データ消去ツール

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「データ消去ツール」が搭載されています。

「データ消去ツール」は、WindowsなどのOSによるファイル削除やフォーマットと違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「データ消去ツール」の使用方法については、サポートページからQ&Aナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください（→P.72）。

付属品の廃棄について

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

□法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

■使用済みバッテリーの取り扱いについて

バッテリーパックを交換できる機種のみ

- ・リチウムイオン電池のバッテリーパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

□個人のお客様へ

使用済みバッテリーは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクルBOXに入れてください。詳しくは、一般社団法人JBRC [ジェイビーアールシー] のホームページ（<http://www.jbrc.com/>）をご覧ください。

弊社は、一般社団法人JBRCに加盟し、リサイクルを実施しています。



Point

- ▶ リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリーパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出してください。パソコンのリサイクルについては、「富士通パソコンを廃棄・リサイクルするときは」（→P.85）をご覧ください。

□法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」（<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>）をご覧ください。



Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管には水銀が含まれております。

廃棄を予定しているパソコンの仕様を確認してください。環境配慮のため、お申し込みホームページからリサイクルをお申し込みください（→P.85）。

パソコン本体の主な仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。なお、パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」(→ P.61)の「サポート & サービス情報」の画面から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- パソコン本体の裏面、または、側面に貼付されたラベル
- 「富士通アドバイザー」(→ P.61)の画面右上



- ▶ 型名の確認方法の詳細は、サポートページからQ&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます(→ P.72)。

■ESPRIMO FH90/B2

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.92)をご覧ください。

シリーズ名		FHシリーズ
品名		FH90/B2
		テレビチューナー搭載機種
CPU 注1		インテル® Core™ i7-7700HQ プロセッサー (HT テクノロジー対応)
メインメモリ注2		PC4-19200 DDR4 SDRAM SO-DIMM, CL17
	標準容量	8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB 注5
光学ドライブ注6		BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線 LAN 注7	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注8
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注9
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注10、出力 DC19V (5.27A)
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください(→ P.87)。
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約616×約227×約470mm (本体最小傾斜時) 約616×約227×約468mm (本体最大傾斜時)
本体質量		約 12.5kg

■ESPRIMO FH77/B1、FH53/B1、FH52/B2、FH52/B1

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.92) をご覧ください。

シリーズ名		FHシリーズ		
品名		FH77/B1	FH53/B1	FH52/B2、FH52/B1
		テレビチューナー搭載機種		テレビチューナー非搭載機種
CPU 注1		インテル® Core™ i7-7700HQ プロセッサー (HT テクノロジー対応)	インテル® Celeron® プロセッサー 3865U	
メインメモリ注2		PC4-19200 DDR4 SDRAM SO-DIMM, CL17 (ただし、FH53/B1、FH52/B2、FH52/B1 では PC4-17000 として動作)		
	標準容量	4GB (4GB×1) デュアルチャンネル対応可能		
	最大容量	16GB 注5		
光学ドライブ注6		スーパーマルチドライブ (DVD±R DL (2層) 書き込み対応)		
無線 LAN 注7	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注8		
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注9		
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注10、 出力 DC19V (4.74A)	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注10、 出力 DC19V (3.42A)	
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.87)。		
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約 558 × 約 167 × 約 370 (本体最小傾斜時) 約 558 × 約 176 × 約 362 (本体最大傾斜時)		
本体質量		約 6.5kg		

■ESPRIMO WF2/B2

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.92) をご覧ください。

シリーズ名		FH シリーズ	
品名		WF2/B2	
		テレビチューナー搭載機種	テレビチューナー非搭載機種
CPU 注1		インテル® Core™ i7-7700HQ プロセッサ (HT テクノロジー対応)	
メインメモリ注2		PC4-19200 DDR4 SDRAM SO-DIMM、CL17	
	標準容量	【以下より選択可能】 4GB (4GB × 1) デュアルチャンネル対応可能 / 8GB (4GB × 2) デュアルチャンネル対応 / 16GB (8GB × 2) デュアルチャンネル対応 / 32GB (16GB × 2) デュアルチャンネル対応	
	最大容量	32GB 注5	
CD/DVD ドライブ注6		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD±R DL(2層) 書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)	
無線 LAN 注7	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注8	
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注9	
電源供給方式	AC アダプタ	AC入力AC100~240V 50/60Hz注10、 出力DC19V (5.27A)	
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.87)。	
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約616×約227×約470mm (本体最小傾斜時) 約616×約227×約468mm (本体最大傾斜時)	
本体質量		約 12.5kg	

■ESPRIMO WF1/B1

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.92) をご覧ください。

シリーズ名		FHシリーズ	
品名		WF1/B1	
		テレビチューナー搭載機種	テレビチューナー非搭載機種
CPU 注1		【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-7700HQ プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Core™ i3-7100U プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Celeron® プロセッサ 3865U	
メインメモリ 注2		PC4-19200 DDR4 SDRAM SO-DIMM, CL17 注3	
	標準容量	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャンネル対応可能 / 8GB (8GB×1) デュアルチャンネル対応可能 / 16GB (8GB×2) デュアルチャンネル対応	
	最大容量	16GB 注5	
CD/DVD ドライブ 注6		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD±R DL (2層) 書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)	
無線 LAN 注7	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注8	
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注9	
電源供給方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注10、 出力 DC19V (4.74A) 注11	
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「 ■仕様の調べ方 」をご覧ください (→ P.87)。	
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約 558 × 約 167 × 約 370 (本体最小傾斜時) 約 558 × 約 176 × 約 362 (本体最大傾斜時)	
本体質量		約 6.5kg	

■ESPRIMO WD2/B2、WD1/B2

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→P.92)をご覧ください。

シリーズ名		DHシリーズ	
品名		ESPRIMO WD2/B2	ESPRIMO WD1/B2
テレビチューナー非搭載機種			
CPU注1		【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-7700 プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Core™ i5-7500 プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Core™ i3-7100 プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Celeron® プロセッサ G3930	【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-7700T プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Core™ i3-7100T プロセッサ (HTテクノロジー対応) / インテル® Celeron® プロセッサ G3930T
メインメモリ注2		PC4-2400 DDR4 SDRAM DIMM、 CL17注4	PC4-2400 DDR4 SDRAM SO-DIMM、 CL17注4
	標準容量	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応 / 32GB (8GB×4) デュアルチャネル対応	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB注5	16GB注5
CD/DVDドライブ注6		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD ± R DL(2層)書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)	【以下より選択可能】 なし / スーパーマルチドライブ (DVD ± R DL(2層)書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線LAN注7	規格	【以下より選択可能】 なし / IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠)注8	
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注9	
電源・周波数		AC100V (AC アウトレット付)・ 50/60Hz注10	AC100V・50/60Hz注10
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「 ■仕様の調べ方 」をご覧ください(→P.87)。	
外形寸法(幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		<縦置き時> フット(設置台)を含む場合: 約142×約343×約347mm フット(設置台)を含まない場合: 約89×約343×約332mm注12	<縦置き時> フット(設置台)を含む場合: 約86×約191×約193mm フット(設置台)を含まない場合: 約55×約191×約186mm注13
本体質量		約6.5kg～約7.3kg	約2.1kg～約2.3kg

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2 パリティチェック機能はありません。
- 注 3 インテル® Core™ i3-7100Uプロセッサおよびインテル® Celeron® プロセッサ 3865Uを選択した場合、PC4-17000として動作します。
- 注 4 インテル® Celeron® プロセッサ G3930またはG3930Tを選択した場合、PC4-2133として動作します。
- 注 5 ご購入時のメモリの組み合わせなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「メモリ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.60をご覧ください）。
- 注 6 読み出し、書き込み速度については、ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「仕様の調べ方」をご覧ください（→P.87）。
- 注 7 無線 LAN の仕様については、『取扱説明書<活用ガイド>』の「無線 LAN」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.60 をご覧ください）。
- 注 8 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
- 注 9 IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
- 注 10 ・標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用）です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続されると、故障する場合があります。
・入力波形は正弦波のみサポート。
- 注 11 ESPRIMO WF1/B1でインテル® Core™ i3-7100Uプロセッサ およびインテル® Celeron® プロセッサ 3865Uを選択した場合、入力AC100 ~ 240V、出力DC19V (3.42A) のACアダプタが添付されます。
- 注 12 横置き時の外形寸法（ゴム足含む）は、約 332 × 約 343 × 約 91mm です。
- 注 13 横置き時の外形寸法は、約 186 × 約 191 × 約 55 mm です。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

第1条 (本規定の適用)

- 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が富士通のFMVサポートお問い合わせ窓口にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「<http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html>」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されません。
- 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第2条 (対象機器)

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第3条 (修理の形態)

- 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があります。
- 引取修理（パソコン修理便）
お客様の自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。
- 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様の自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。
- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様の自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第4条 (保証期間内の修理)

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
 - 保証書が対象機器に添付されていない場合
 - 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
 - ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、水没、落下等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
 - 富士通指定の有寿命部品、消耗品（バッテリー、乾電池等）または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
 - 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
 - お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合（例：対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等をい、以下同じとします）の場合
 - お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
 - お客様の使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）
- 1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第5条 (保証期間外の修理)

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に同った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に同った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条 (修理料金の見積もり)

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとします。訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要がある場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただかなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条 (修理料金等の支払い方法)

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条 (修理期間)

- 引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があります。
- お客様から同った故障の現象が確認できず、修理箇所特定ができない場合
 - 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
 - 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
 - お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
 - 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
 - 第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条 (修理品の保管期間)

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとしてします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条 (故障部品の取り扱い)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置 (ハードディスク等) に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容 (以下総称して「データ等」といいます) につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。(日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。) なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 富士通は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、富士通は、当該接続によりデータ等が変化・消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更、消去等する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム (OS) ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体 (CD、DVD、メモリーカード、フロッピーディスク、MO 等)、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
 - a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
 - b. ウィルスの除去
 - c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
 - d. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (11) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条 (補修用性能部品)

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をい、故障部品と機能、性能が同等な部品 (再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む) とします。
2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条 (個人情報の取り扱い)

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報 (以下「お客様の個人情報」といいます) につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 修理を実施すること。
 - (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
 - (3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。
 - (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条 (責任の限定)

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、富士通は、富士通の責に帰することのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条 (変更)

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条 (反社会的勢力等の排除)

1. お客様は、自らが次の各号に記載する者 (以下、「反社会的勢力等」という) に該当せず今後も該当しないこと、また、反社会的勢力等との関係を持っておらず今後も持たないことを確約します。
 - (1) 警察庁「組織犯罪対策要綱」記載の「暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等」その他これらに準ずる者
 - (2) 資金や便宜を供与したり、不正の利益を図る目的で利用するなど、前号に記載する者との・資本的・経済的に深い関係にある者
2. お客様は、自らまたは第三者を利用して、次の各号に記載する行為を行わないことを確約します。
 - (1) 詐術、暴力的行為または脅迫的言辞を用いる行為
 - (2) 違法行為または不当要求行為
 - (3) 業務を妨害する行為
 - (4) 名誉や信用等を毀損する行為
 - (5) 前各号に準ずる行為
3. 当社は、お客様が前各項に違反したときは、お客様に対して損害賠償義務を負うことなく、何等の催告なしにただちに本規定に基づく対象機器の修理および関連するサービスの提供を中止または拒否することできるものとします。

第 17 条 (専属的合意管轄裁判所)

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2017 年 3 月 1 日から実施します。

■対象機器

- ・ ARROWS Tab シリーズ (個人向け Windows タブレット)
- ・ arrows Tab シリーズ (個人向け Windows タブレット)
- ・ FMV シリーズ
- ・ FMV STYLISTIC QH シリーズ
- ・ ESPRIMO / LIFEBOOK (品名が以下のように表記される製品)

品名: * H * * * * / * * * *
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
アルファベット 数字 (2~3桁) 数字またはアルファベット (1~3桁)

品名: W * * * / * * *
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
アルファベット 数字またはアルファベット 数字またはアルファベット (1~2桁)

品名: * H / R * * *
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
アルファベット 数字またはアルファベット (1~2桁)

Memo

Memo

■ローマ字入力表

わ WA	ら RA	や YA	ま MA	は HA	な NA	た TA	さ SA	か KA	あ A
	り RI		み MI	ひ HI	に NI	ち TI	し SI	き KI	い I
を WO	る RU	ゆ YU	む MU	ふ FU	ぬ NU	つ TU	す SU	く KU	う U
	れ RE		め ME	へ HE	ね NE	て TE	せ SE	け KE	え E
ん NN	ろ RO	よ YO	も MO	ほ HO	の NO	と TO	そ SO	こ KO	お O

っ LTU	あ LA	小さい文字 最初に「L」を押します。	ぱ PA	ば BA	だ DA	ざ ZA	が GA	
ゃ LYA	い LI		び PI	び BI	ぢ DI	じ ZI	ぎ GI	
ゅ LYU	う LU		ぷ PU	ぶ BU	づ DU	ず ZU	ぐ GU	ヴ VU
ょ LYO	え LE		ぺ PE	べ BE	で DE	ぜ ZE	げ GE	
	お LO		ぽ PO	ぼ BO	ど DO	ぞ ZO	ご GO	

※ 上記は基本的な一覧です。詳しくは、サポートページ (http://azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/romaji/) をご覧ください。

※ 小さい「っ」は、子音 (AIUEO 以外) を 2 回続けて押しても入力できます (例 : にっき → NIKKI)。

■商標および著作権について

Intel、インテル、Intel Core、Celeron は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。Corel、Corel バルーンロゴ、PaintShop、Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator、WinDVD は、カナダ、アメリカ合衆国および / またはその他の国の Corel Corporation および / またはその関連会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィー、McAfee のロゴ、LiveSafe、リブセーフは、米国法人 Intel Corporation または McAfee, Inc.、もしくは米国またはその他の国の関係会社における商標です。

デジタルアーツ / DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター / フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

デジブックは株式会社ルクレの登録商標です。

LightOn、CurioSound は、株式会社デジオンの登録商標または商標です。

Learn To Speak English は、eLanguage, LLC の米国における登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。

MaxxAudio は、Waves Audio Ltd. の米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

SeeQVault および SeeQVault ロゴは、NSM Initiatives LLC の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2017

ESPRIMO

取扱説明書 <スタートガイド>

B5FK-9031-01-01

発行日：2017年7月

発行責任：富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス (有料)

PC家庭教師



セットアップって
むずかしそう…
やってくれないかな。



ネットにつながらない!
もしかして**ウイルス感染?**
うちに見に来てほしい



デジカメの写真、
プリントだけでなく
もっと活用したい!



パソコン基本設定

・有線インターネット接続パック

めんどろなパソコンのセットアップは、お任せください!

17,800円(税込)～

かけつけ診断

原因がわからないトラブルもプロが解決に導きます!

11,000円(税込)～※

ITチャレンジ

お客様の「したい」ことを丁寧に説明します!

14,300円(税込)～

(注)メニュー名、料金は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※診断の結果、トラブル解決に必要な作業が発生した場合、別途費用がかかります。

通話料
無料

みんな つなぐよ
0120-37-2794

■受付時間：10時～19時 ■訪問時間：10時～20時

WEBページからお申し込みいただけます。詳細はPC家庭教師ホームページをご覧ください。

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

※年末年始、当社指定休業日は、電話受付および訪問を休止させていただきます。

PC家庭教師について、メニューの内容や価格など詳細を知りたい方はホームページをご覧ください。

富士通 家庭教師

検索



「PC家庭教師」は富士通が提供する有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

